



経営トップ


株式会社大和工業

「感謝の心」で快適な住生活空間を提供する

起業家訪問 An Entrepreneur

合同会社暮らしかたらぼ

RRI No.136

 琉球銀行

 りゅうぎん総合研究所



※目次(CONTENTS)の各タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。

CONTENTS

<p>経営トップに聞く 株式会社大和工業 ～「感謝の心」で快適な住生活空間を提供する～ 代表取締役 高江洲 信彦</p>	<p>01</p> 
<p>起業家訪問 An Entrepreneur 合同会社暮らしかたらぼ ～仕組みを変えることで、会社の体質を変え、 家庭をキレイにし、気持ちいい生活をサポートする～ 代表者 根原 典枝</p>	<p>06</p> 
<p>新時代の教育研究を切り拓く ～「細菌を食べる細菌」で新たな抗生物質開発をめざす～ 沖縄科学技術大学院大学コミュニケーション・広報ディビジョン メディアセクション (同大学のHP記事より許可を得て転載)</p>	<p>08</p>
<p>OCVBの取り組みについて 観光教育の取り組み ～沖縄県観光学習教材・観光出前講座～ 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー</p>	<p>11</p>
<p>アジア便り 香港 ～秋の香港、新空路、イベントについて～ レポーター: 上原 和久(琉球銀行) 沖縄県香港事務所に出向中(副所長)</p>	<p>14</p>
<p>りゅうぎんビジネスクラブ ～「りゅうぎんビジネスクラブ」入会のご案内～</p>	<p>19</p>
<p>行政情報96 沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について 内閣府沖縄総合事務局経済産業部</p>	<p>20</p>
<p>県内大型プロジェクトの動向94</p>	<p>22</p>
<p>沖縄県の景気動向 (2017年9月) ～観光関連の入域観光客数や建設関連のセメント・生コンが前年を上回り、消費関連も引続き好調に推移するとみられ、県内景気拡大の動きは37カ月連続で強まっている～</p>	<p>24</p>
<p>学びバンク ・GDP増加 ～安定した社会構築の鍵～ りゅうぎん総合研究所常務取締役 照屋 正(てるや ただし) ・クルーズ船客の活動 ～化粧品や市販薬に関心～ りゅうぎん総合研究所調査研究部長 武田 智夫(たけだ ともお) ・自給率向上 ～域内経済強化し所得増～ りゅうぎん総合研究所調査研究部研究員 仲吉 良弥(なかよし りょうや) ・賃金の上昇 ～阻む課題への対処 期待～ 琉球銀行首里支店長 与儀 達博(よぎ たつひろ) ・ネットで買い物 ～消費支出の1割占める～ りゅうぎん総合研究所調査研究部研究員 上原 優奈(うえはら ゆうな)</p>	<p>36</p>
<p>経営情報 災害時における費用・収益の税務上の取扱い ～法人が、災害時に支出した費用、受け取った収入の税務上の取扱い～ 提供 太陽グラントソントン税理士法人</p>	<p>40</p>
<p>経済日誌 2017年10月 県内の主要経済指標 県内の金融統計</p>	<p>41 42 44</p>

経営
トップに聞く「感謝の心」で
快適な住生活空間を
提供する (株)大和工業株式会社大和工業
たか えす のぶ ひこ
高江洲 信彦 社長

株式会社大和工業は、1995年7月那覇市で故島田誠治氏が創業、1997年に有限会社大和工業に法人化し、翌年11月には現所在地である中城村泊に移転、2004年8月には株式会社へ変更、現在に至っている。同社は創業以来、アルミサッシ等の住宅建材の製造・販売で安定した県内シェアを誇る。2005年には同社独自の防水サッシを開発するなど、県内サッシ業界を牽引する存在。中城村泊の本社をお訪ねし、高江洲信彦社長に同社のこれまでの歩み、事業内容、経営理念、今後の展開などをお聞きした。

インタビューとレポート 大谷 豊

御社設立の経緯やこれまでの歩みを聞かせてください。

戦前の沖縄の建築は木造で赤瓦が特徴でしたが、戦後は米国からのツーバイフォー工法の木造になり、それも台風と白蟻等の被害により現在主流のRC造りになっています。そして、その頑丈な構造に合うアルミサッシも早くから県内では普及していました。

当時、大手アルミサッシメーカーの沖縄支店長だった故島田誠治氏は、一旦は名古屋支店に転勤されたのですが、縁あって50歳の時、退職され沖縄で起業されたのです。

それが大和工業でした。もともと別の方が個人経営されていた大和工業を譲り受け立て直さ

れたのが始まりでした。

故島田氏は大手メーカーの沖縄支店長でしたから知人も多かったのですが、いざ独立するとかつての顧客、知り合いは同業者として競合することになり想像以上の厳しいスタートだったようです。しかし、持ち前のバイタリティーで創業者は見事に個人経営の店を有限会社、株式会社にまで発展させられました。

実は、私は地元の銀行に勤務しておりまして、当社が中城村に移転する際、移転先の物件購入資金を融資する担当でした。以後、取引先担当として当社、創業者とはずっとお付き合いさせていただいておりました。

その後、私が43歳の時、銀行が希望退職を



中城村泊の本社社屋



仕入れされた型材アルミ



仕上がったアルミ製品



高性能防水型ガラリ「モラ・ネード」シリーズ (断面)

募った際に後先を考えずにそれに応諾したのです。無謀な辞め方でした。銀行を退職することになり、退職の挨拶周りで当社も訪問しました。退職後のことは何も決めずに決定したことだと創業者に話すと、うちに来ないかと、当時、奥様が経理を担当されていたのですが、それを替わって欲しいと頼まれたのです。これで当社に転職することとなり、当社の経理を担当、ほどなく名護にある関連会社も任せられ、創業者が体調を崩されるころ、当社の社長に就任することになったのです。

開業当初こそ、ご苦労されたようですが、大手サッシメーカー出身の故島田氏ですから、会社の業績は右肩上がりに躍進し、県内トップスリーのサッシメーカーに育てられました。その会社を任せられることになった訳で、創業者の、お客様を大事にされたその経営姿勢を今も引き継いで業務にあたっております。

業務の内容についてご紹介いただけますか。

当社はアルミサッシの製造、販売、設置工事、その他バス・キッチン等の住宅関連資材の販売を行なっています。大手サッシメーカーの販売代理店にもなっております。

沖縄のサッシ会社の大半は販売だけでなく、

サッシの加工、組み立ての工場を持っています。理由はご存知のように沖縄はRC造りの建物が主流で、流し込まれたコンクリートの仕上がり具合を確認してから窓枠等の実寸を測り、その窓枠に合うサッシを準備する必要があるからです。

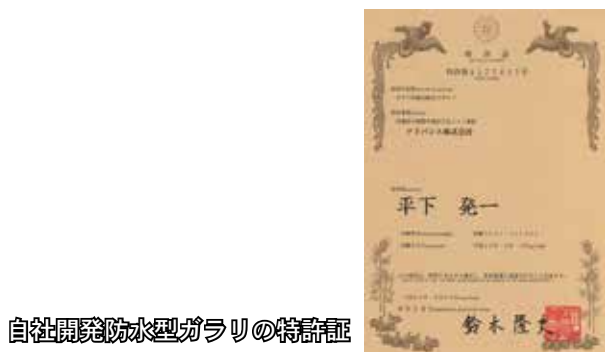
木造建築が主流の本土の販売店では工場を設備している所はほとんどありません、メーカーからの既製品をそのまま施工業者が設置しているのです。

当社が那覇から当地中城村に移転したのもその設備用の土地を求めての移転だったのです。サッシメーカーから取り寄せた型材の保管や加工・組立をする工場です。

また、離島県なので製品の輸送は船便になり発注して受領するまで約40日近く掛かるのも自前の加工工場の必要性のひとつです。ですから、材料の在庫管理も加工以上に重要になっています。台風が相次ぐ季節は神経を使います。住宅建築で窓等の外装工事は後半の仕上げ工事の進捗に関わるからです、窓がないと室内工事、内装工事が進みません、天候不良が続けばなお更です。我々は常に製品の納期を遵守できるよう、実寸後、出来るだけ短時間で納品出来るよう最善の注意を払い社内の連携を敷いています。



『モラ・ネード』の内部の羽根（特許取得）



自社開発防水型ガラリの特許証



防虫ネット付ガラリ組み立て中



穴あけドリル

○営業品目

- ・住宅建材：一般住宅アルミサッシ、エクステリア商品等
- ・商業ビル：高性能アルミサッシ等
- ・住設機器：システムキッチン、バス・トイレ等
- ・リフォーム：キッチンやアルミサッシ取替工事等

関連グループ会社との連携等についても教えてください。

当社以外に 3 社のグループ会社を設立しております。

○株式会社名護ウィンドサービス：北部地域を担当、当地域への迅速な製品提供を行なっています。

○アドバンス株式会社：当社は本土メーカーの販売代理店が主ですが、創業者は沖縄の地域性もあり、本土メーカーの商品を加工・販売するだけでなく、独自の商品で他との差別化を図る必要があると考え、商品開発を担当する会社を設立し、新商品を開発しました。高性能防水型ガラリ「モラ・ネードシリーズ」です。

ガラリとは室内と室外の換気目的のサッシです。従来のガラリは風の強い時、雨水の浸入が起り室内の浸水等で電気・機械トラブルや内

装壁・天井・床の痛みを起こしていました。一般的にはダクト設置により換気を行ないますが、工事費や時間を考えるとガラリサッシのほうが工事も簡単、短時間で設置が可能になります。

ガラリの本来の目的は通気性です。防水性をプラスしたのが防水型ガラリですが、従来のものでは通気性を重視すると防水性が低下するという、相反する課題がありました。そこで、当社の防水型ガラリには独自開発のガラリ羽根を使用、羽根を通過する風雨を抑え非常に高い防水性を実現出来ました。このガラリ羽根は 2008 年に特許取得できました。実験では 30 メートルの暴風でも防水性が確保されております。本土向けガラリが好調で福岡支店につづき東京と名古屋に営業所を設けるほどになっています。県外での設置事例では、あの東京の豊洲市場にも当社の防水ガラリが利用されています。もちろん県内でも県立美術館、吉の浦発電所にも使われています。

○ダイワ運輸サービス株式会社：当社製品や材料の運搬も行ないますが、一般の貨物・荷物の運送も請け負います。近隣のショッピングセンターの工事の際は建築資材等の運搬を請け負うことができました。



プレス機を操作する女性作業員



女性の働きやすい工場



笑顔があふれる事務室



経営方針発表会

御社の経営理念についてお聞かせください。

当社の経営理念は次の通りです。

<基本理念>

1. 顧客第一主義
～私達はお客様の立場に立ち、お客様の目線で物事を考えて行動します。
2. 人間主義
～私達は自分自身に誇りを持ち、自分の仕事に自信と情熱を持ちつづけます。
3. 感謝主義
～私達は感謝の心で仕事に取り組みます。

そして社是・社訓としては

<社是>品質第一

～仕事の品質を高めて、社会に貢献します。

<社訓>五つの至心（至心とはこの上ない誠の心、まごころの意です）

1. 明確な目標を持つ
1. ゆるぎない信念を持つ
1. 積極的な心構えを持つ
1. 的確な思考力を持つ
1. 逆境を克服する強い精神力を持つ

以上の理念、社是・社訓を実践することで当社のコーポレートメッセージである“「感謝の心」で快適な住生活空間を提供する”ことができるとしています。

創業者が掲げた顧客第一主義は、ややもすると身内に厳しくなり、社員の不満もあったようです。社員におもねる訳ではありませんが、職場が楽しくなければ仕事も上手く運ばず、結果としてお客様を喜ばすことは出来ないのではないかと、顧客第一主義のためには社員の満足も必要だと私は考えております。

最近では、社員の子弟による職場体験訪問や、家族の方がひょっこり訪ねて来られることが増えてきています。社員が家庭で職場の話をしているのだと、うれしく思っております。職場が楽しく、仕事に自信があるから茶の間で話題にのぼり、家族も訪ねてみたいと思われるのですから。

社員への感謝のしるしとして新たに「メモリアル休暇制度」というのを設けました。社員の本人の結婚記念日や誕生日の記念日には会社を休んでもらい、その場合には報奨金も与えるというものです。半ば強制的に家族との記念日を祝い、明日の仕事へのやる気の醸成と慰労の意味の制度です。

御社の人材の育成についてもお話しいただけますか。

経営コンサルを受けているたなべ経営のエル

企業概要

商号：株式会社大和工業
 本部所在地：沖縄県中城村字泊 433 番地
 連絡先：098-895-5565（代表）
 設立：1995年（平成7年）7月
 役員：代表取締役社長 高江洲 信彦
 専務取締役 島田 吾朗
 執行役員 上村 宗
 執行役員 岡本 重幸
 執行役員 奥平 誠

従業員数：71人（含むパート）

事業内容：住宅機器販売・設置工事、エクステリア商品販売・設置工事、住宅リフォーム全般工事

グループ会社：アドバンス株式会社、株式会社名護ウィンドサービス、ダイワ運輸サービス株式会社



きれいに養生され現場へ納品直前の製品



納期についての入念な打ち合わせ

ダー研修を利用しています。エルダー研修は先輩が新人、後輩に業務をいかに効率よく指導・伝授できるかの研修ですが、これにより業務指導が出来るのは無論のこと、先輩、後輩のコミュニケーションが取り易くする狙いもあります。当社のように受注、発注、加工作業、設置はそれぞれ別の部署になり、これらの意思疎通の良し悪しが受注した製品や工事の納期に大きく関わるからです。その後はミドルアップ研修を受講する仕組みにしています、これは管理職研修で中間管理職養成講座の位置づけです。

その他は、安全教育です。当社工場にはプレス、穴あけ、型押し機械等の設備があります。これらの機械操作には気を緩めると重大な事故につながりかねません、しかも当社では女性の機械操作員もおり、安全管理はより重要なのです。毎週月曜日の役員会議の後、役員で工場の整理・整頓の状況を点検しております。

社会貢献活動についてお聞かせください

会社を挙げての活動までは控えています。献血や募金等是对应しています。休日での参加は社員やその家族に負担を掛けることになり、案内をする程度にしています。地域の清掃等が休日実施の場合は、社長の私が商工会のメンバー

として参加しています。週休2日制ですが、担当先の工事進捗次第では休日出勤することもあり、休日対応は困難なのです。その分、日頃の業務において誠実、正確、丁寧な仕事をすることで地域、社会に貢献するのが先決ではないかと考えております。

これからの取り組みや事業展開についてお話しいただけますか。

創業者とは私が社長就任に際し、会社を存続させるよう約束させられました。経営者として当然のことではありますが、この想いを受け、創業者の理念である顧客第一主義を継続実践することで、事業拡大が成し遂げられました。今後もその理念を継続致しますが、更なる事業拡大にはまず体力・筋力をつけた後で、もう一段伸ばすべきと捉えています。今期は、ミスを隠さず、その原因を皆で共有、再発防止につなげるようコスト管理を行なう方針としています。戦略的には、採算を二の次にする営業も必要かもしれませんが、今後は徹底した経費管理と品質管理を心がけた事業展開が拡大には必要と考えております。



合同会社暮らしかたらば

仕組みを変えることで会社の体質を変え、家庭をキレイにし、気持ちいい生活をサポートする。



根原 典枝社長

事業概要

- 代表者 ねはら のりえ 根原 典枝
- 創業 2010年
- 設立 2014年4月
- 事業内容 企業の5Sコンサルティング、
家庭の掃除、整理・整頓
- 本社 沖縄県北中城村安谷屋 145-1
- TEL 098-911-1529
- 社員 7人

起業への道のり

3児の母として専業主婦であった根原典枝氏は10年ほど前、ある経済ドキュメンタリーテレビ番組を見たのが起業のきっかけだったと振り返る。番組では、整理・整頓等の5S運動を実践することで赤字だった会社が黒字転換するという内容でした。主婦には一見関係ない話ですが、根原氏には会社での整理・整頓等の良い習慣が会社の体質を変え、業績も好転させるなら、個人の家庭でも何か良い結果をもたらすに違いないとまず自身が実践したのです。それまで、家の片づけは得意ではなかったものの、身の回りを片づけることで自身のストレスが無くなり、子供たちの片づけも楽しくなり、何かが変わっていきました。或る時友人が訪れ、子育てしながらもいつもより片付いた部屋を見て、これなら充分仕事になるよと起業を勧められ一大決心したのです。

家事代行からスタート

2010年に家庭でのいろんな困りごとを手伝う“家事代行”の個人営業を開始。主婦ならではの感性が必要と思い、以前バイト先で知り合った、同じく4児の母親である片づけ上手な友人をア

シスタントとして一緒に始めたのです。

2013年には、県内で実践的6S活動の指導で来沖していた草間和彦氏に出会い、本格的に企業向けの指導方法を習得するため草間塾に入塾し教えを受けました。

法人設立

2014年に、個人営業から法人組織へ変更、社名は「暮らしかたらば」、従来の家事代行のイメージである“お掃除屋さん”ではなく生活全般、暮らしかた、家庭や組織での行動の仕組みを如何にすれば、気持ちよく、楽しく、効率よく出来るかを常に考え追及する研究所になろうと命名されたものです。

根原氏が代表として、法人向け5Sの推進担当となり、広報活動としての講演会や様々なセミナーでの講師も務め5S運動の啓蒙を行っています。同社では個人向け担当者を“おうちみがきマイスター”と呼び、代表が5Sの指導をしています。

5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）とは

整理：“要るもの”“要らないもの”のけじめをつけ“要らないもの”を撤去すること。

整頓：“要るもの”を必要な時、いつでもすぐ使える状態で安全に取り出せるようなものの置き方にすること。

清掃：“要るもの”を、ゴミなし、汚れなしの状態にしておくこと。

清潔：整理、整頓、清掃の徹底が常にされている状態をいう。

しつけ：決められた事は守る、任された事はやり遂げること。



定期コースの清掃



定品・定位置の決まった工具



定品・定量・定位置が決まった部品類



食器棚内は同種品で整理



戸棚内も同種品で整理



スツクリ片付いた部屋

ストレスフリーな暮らしをめざす

人は日に何時間も探し物に貴重な時間を費やしていると代表は言います。

この時間をなくせれば、1日24時間ももっと長く感じ、それ以上に、ものを探す時の苛立ちが無くなることで気持ちがスッキリするということです。企業の現場でも同じことで、代表が目指すストレスフリーの暮らしです。

ストレスから解放され、笑顔が周囲にも伝わり、毎日が楽しく、勤め先でも楽しく、人間関係も改善、仕事もはかどり、ひいては会社の業績も好転するという好循環になるという。

働く女性を支援する

女性の経営者や働く主婦の家事を支えることで女性の就労支援につながると同社の仕事の意義を代表は説明します。

ある老夫妻のお宅を掃除した際、御主人から素晴らしい仕事とお褒めを頂いたとのこと。二人とも教員だった夫妻は、ある時、育児の悩みで退職を考えた奥様に将来の収入の一部を家政婦費用に充てようと退職を断念させた話でした。根原氏が日頃からこの考えをもっと広めたいと思っていた矢先のことで、更に意を強くされたそうです。

《個人向けメニュー》

○がんばるママをサポートするお掃除定期コース：日頃、掃除する時間等がなく掃除できなくなっている箇所を場合によっては留守宅にうかがい徹底的に掃除するもので、これはお客さまからの信頼が前提となります。

また、人のライフステージの変化に伴い各ステージに合った整理・整頓を考える必要があります。同社の実績がリピーターにつながっています。

○おうちずっとキレイ整理収納ルールづくり：必要・不必要の確認、相談をしてから家財

の処分、整理整頓を行います。ポイントは日頃使用頻度の高いものは身近に、手の届く範囲の決められた場所に置くというルールを相談しながら作る事です。

《法人向けメニュー》

○5Sコンサルティング：「仕組みが変われば、会社が変わる」をテーマに企業5Sコンサルタントとして代表の根原氏が担当、県内はもとより県外企業まで、食品製造業、不動産、クリニック、店舗等の幅広い業種の指導を行っている。あるクリニックでは5Sを採り入れることにより職員の「気付く力」が伸び、患者様の高評価を得ることが出来、業績向上に繋がった事例も報告されています。

今後の取り組み

近年、沖縄へ移住される方の多さにも着目、移住者宅の定期清掃も潜在顧客になると捉えています。さらに今話題の民泊ブームも民泊施設の清掃等を請け負う事も出来、追い風と捉えています。これら移住者宅、民泊施設のハウスクリーニングや引っ越しの際の荷物の入れ込み、片づけも不動産業者との連携を視野に入れることで、業務拡大を目指しています。

女性の雇用促進に貢献

折角就職しても育児を機に仕事を断念する女性が依然多い現実、育児経験のある主婦の再就職先としての受皿を目指す。育児に専念できる環境づくりの助けになり、女性の就労機会増加を願う。

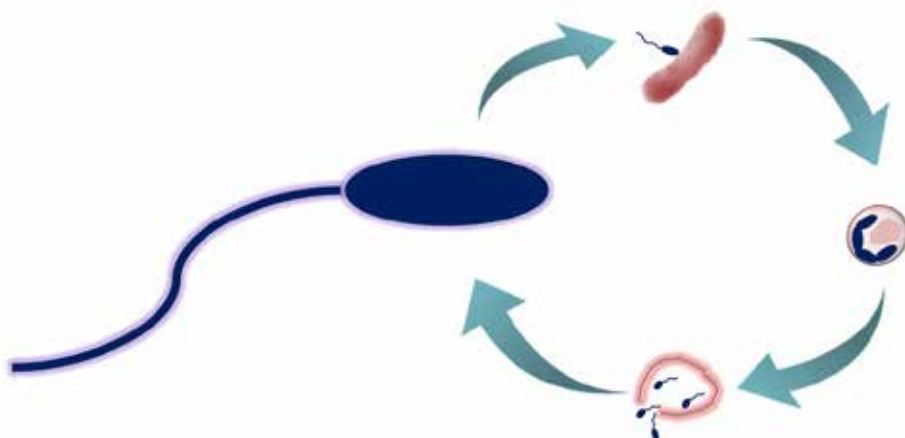
「私自身にも“暮らしかたらぼ”さんのお世話が必要になってきました」と苦笑する代表の根原氏でした。（レポート 大谷 豊）

※沖縄科学技術大学院大学のHPから許可を得て転載した記事です。

新時代の教育研究を切り拓く

～沖縄科学技術大学院大学の取り組みについて～

「細菌を食べる細菌」で新たな抗生物質開発をめざす



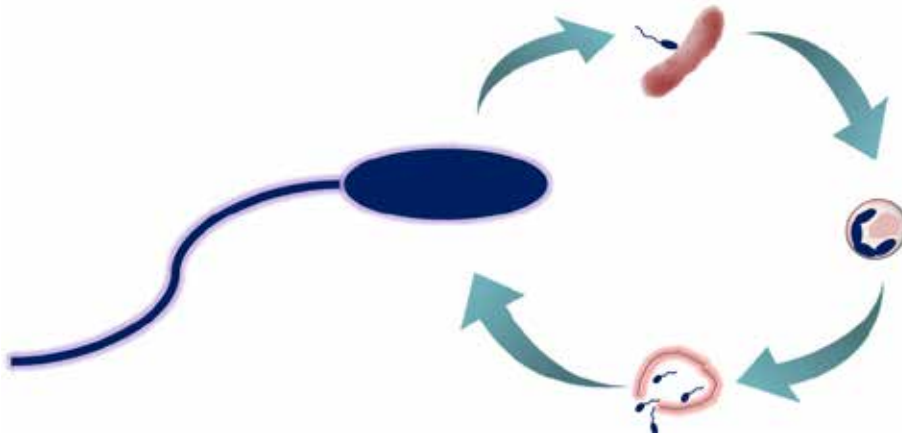
2016年、世界保健機関（WHO）は、抗生物質への耐性を「現代における健康、食の安全、そして発展にとって最大脅威のひとつ」と位置付けました。そして、現存する抗生物質に対する耐性が増していることが原因で、年々、結核や淋病などの感染症の治療が困難になっていることを報告しています。とは言え、抗生物質は人類にとって欠かせないものです。なぜなら抗生物質がなければ、感染症の蔓延に苦しむことになるからです。では、強まる耐性に警鐘を鳴らすと同時に、継続した治療を保障するための解決策は何でしょうか。

解決方法のひとつとして、病気の原因となる細菌を餌にする捕食性細菌のユニークな特性に、可能性を見出すことができます。「生きた抗生物質」と呼ばれるこの肉食類に、沖縄科学技術大学院大学（OIST）の研究者らも注目しました。この度、アメリカ化学会が発行する *ACS Synthetic Biology* に掲載された論文で、微小肉食細菌、ブデロビブリオ・バクテリオヴォルスの遺伝子操作に向けた研究成果がOIST研究員らによって報告されました。この中で研究チームは、細菌の捕食特性に作用する遺伝子操作を可能にする技術について発表しています。

「将来は、細菌の捕食のタイミングと範囲を制御できるようにしたいのです。」本研究論文の筆頭著者で、OIST核酸化学・工学ユニットのモハメド・ドゥイダール博士は説明します。「しかし今のところ、それを実現するための基本的な遺伝子操作技術がないのです」

ブデロビブリオ・バクテリオヴォルスは、人間にとっては無害な細菌ですが、大腸菌や

サルモネラ菌、レジオネラ菌などの病原菌のように、悪性のグラム陰性菌と呼ばれる捕食対象を死滅させます。よって、捕食性細菌をうまく制御することで、多くの感染症を治療できる可能性があります。ただ、その独特な捕食特性や他の性質のため、これまでに行われてきたブデロビブリオ・バクテリオヴォルスの遺伝子操作は限定的なものでした。

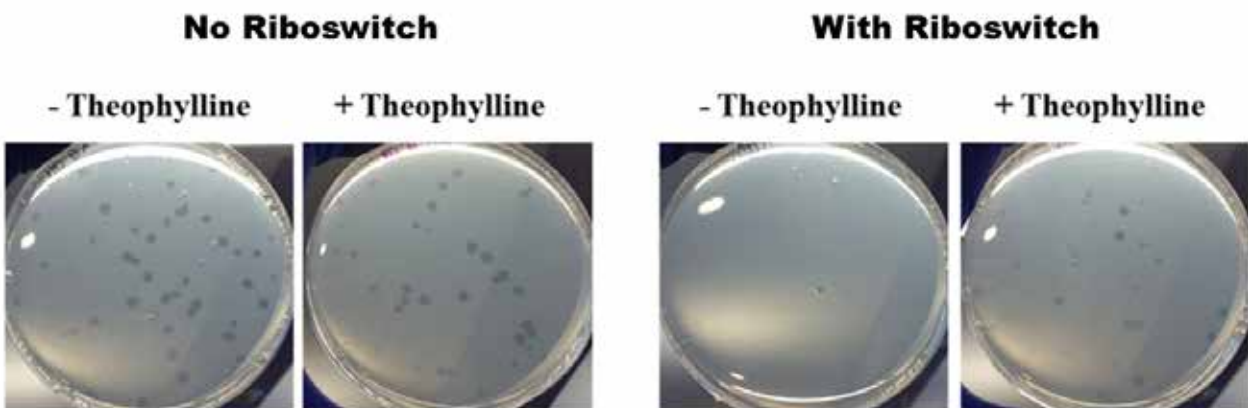


ブデロビブリオ・バクテリオヴォルスの捕食には、獲物を探し（フェイズ1）、獲物の中に侵入し餌にする（フェイズ2）という2段階の周期がある。フェイズ2では、同細菌は獲物を内側から捕食し自身を伸長させたあと、新たに3つから6つのブデロビブリオ・バクテリオヴォルス細胞に分離する。これらの細胞は、捕食によって死滅した獲物から抜け出し新しい周期を始める。（提供：アメリカ化学会）

OISTの研究者らは、ブデロビブリオ・バクテリオヴォルスの捕食特性を理解し、そして制御するため、他の細菌内で優れた働きすることで知られるリボスイッチという、遺伝子発現を制御する機能を利用しました。遺伝子発現の過程では、まずDNAがRNAに転写されます。次にRNAがタンパク質に翻訳され、そして、そのタンパク質が細胞の中でさまざまな仕事を行います。リボスイッチはこの翻訳にかかわり、RNA鎖の始まりの部分にリボスイッチを配置し、化学物質で「活性化」させると、RNAがタンパク質に翻訳されるのを開始したり抑制させたりすることが可能になるのです。

本研究で、OISTの研究者らは、ブデロビブリオ・バクテリオヴォルスの捕食特性に重要

だと思われる遺伝子の1つ、鞭毛シグマ因子*fliA*にリボスイッチを挿入しました。そして、テオフィリンという化合物でリボスイッチを活性化しました。リボスイッチを挿入したブデロビブリオ・バクテリオヴォルスを、栄養分の豊富な大腸菌の餌とともにシャーレに入れると、テオフィリンでの活性化がされない場合と比べると、数倍も早く増殖することが観察できました。この増殖の速度は、ブデロビブリオ・バクテリオヴォルスが、餌をより速く捕食していたことを示し、その結果、増殖のスピードも加速したのです。このことは、捕食バクテリアの周期はテオフィリンによって制御できるということを示しています。



写真はすべて、ブデロビブリオ・バクテリオヴォルスとその餌となる大腸菌を入れたシャーレ。左側2枚は、遺伝子へのリボスイッチの挿入はなしで、テオフィリンなし（-）とあり（+）の状態のブデロビブリオ・バクテリオヴォルス増殖の様子。右側2枚は、遺伝子へリボスイッチを挿入したブデロビブリオ・バクテリオヴォルスで、テオフィリンなし（-）とあり（+）の状態。それぞれの実験で、左側2枚の写真では培養の変化が見られず、右側2枚の写真ではテオフィリンを付加したことで培養が加速した様子。この実験からテオフィリンで活性化させたりボスイッチは、ブデロビブリオ・バクテリオヴォルスの捕食特性に影響することが分かる。

「生きた抗生物質」の開発という最終目標に加えて、本研究では容易に制御可能なブデロビブリオ・バクテリオヴォルス細胞の、さらなる活用方法も期待されています。ドゥイダール博士は化学成分を一切含まない有機栽培において、「この捕食バクテリアは、いくつかの植物病害に対し、抗菌剤にとって代わる安全な代用品となり得る可能性があります。さらに、例えば水処理施設などの産業応用も活用することができるとは思っています。」と付け加えます。

「将来は、食中毒を防ぐために、これらの捕食性細菌を新鮮な食品にスプレーして使えるようになるかもしれません」と、本研究を率いた横林洋平准教授もコメントします。

OIST研究者らによる本研究成果を踏まえた次なるステップは、ブデロビブリオ・バクテリオヴォルスが持つ抗生物質としての潜在性を十分に引き出すため、その全容を明らかにし、制御を可能とする技術について、さらなる研究を進めることです。

～沖縄科学技術大学院大学よりお知らせ～

小さな発見、大きな未来、科学の世界を旅しよう！

沖縄科学技術大学サイエンスフェスタ

日時 2017年11月19日(日)10:00～16:00

場所 OISTメインキャンパス(恩納村谷茶1919-1)入場無料

内容 ・科学の講演会 ・科学デモンストレーション ・ワークショップ

・研究施設の見学 ・研究紹介 ・OIST入学説明 ・サイエンスカフェ

お問い合わせ OIST地域連携セクション 098(966)2184



観光教育の取り組み
～沖縄県観光学習教材・観光出前講座～



1. 沖縄県観光学習教材とは

沖縄県及び（一財）沖縄観光コンベンションビューロー（以下 OCVB）は、子供たちが観光という視点から沖縄の歴史・文化、自然を学び、世界へ誇れる沖縄の魅力を理解してもらうと共に、沖縄県民の一人として、観光客を温かく迎える「おもてなしの心」を自発的に育ててもらい、沖縄観光の持続的な発展に寄与することを目的として観光学習教材を作成しております。



作成に至った経緯としては、平成 15 年度から 17 年度にかけて実施した沖縄県観光産業人材育成事業において、「観光産業従事者のステイタス向上には、全県民向け、特に学校教育の段階から沖縄の歴史・文化、自然等を活かした観光産業に対する理解を深める必要がある」との方向性が示されたことが背景にあります。作成にあたっての、構成・内容・表現については、教育に関わる行政や小学校の教諭、大学教授、観光業界など、産官学のメンバーで数回にわたる編集会議を重ね、子供たちの目線に立って作成しております。主に小学 4 年生を対象に平成 18 年度から毎年県内の全小学校に配布を行い、今年度においては内容や規格も新たに約 17,500 冊配布を行いました。

配布に加え、沖縄県内の教育機関において本教材の利用を推進してもらうために、今年の 9 月 11 日に沖縄県教育長へ贈呈式を実施いたしました。



また、昨年においては観光先進国の実現に向けた国の取り組み「明日の日本を支える観光ビジョン」の中で、観光教育の充実のために目指すべき将来像の先進事例として紹介されたほか、日本の優れた観光・旅行産業の取り組みを表彰する「第 2 回ジャパン・ツーリズム・アワード」において国内・訪日領域部門 優秀賞を受賞しております。



OCVBでは観光教育に取り組む学校に対して、この教材を活用した観光出前講座の実施、また観光教育の内容や進め方に関する相談や資料の提供などの支援を行っております。

2. 観光出前講座とは

OCVBでは、沖縄県内各地の小・中・高等学校、専門学校で沖縄観光、歴史、文化について講座を行い、子供たちの観光への理解を深め、観光の大切さと観光産業の魅力を伝えることを目的に観光出前講座を行っております。先ほど紹介した観光学習教材を使って観光の授業を行うほか、歴史・文化、マナーや接遇の講座も行っております。

年々観光学習の需要は高まってきており、平成28年度においては61校、6,039名への講座を行いました。観光出前講座を実際に受けた子供たちからの声を紹介させていただきます。

<生徒の声>

- ・私の予想を遥かに超える観光客がきていること、外国人が沢山来ていることに驚きました。それに、こんなに小さな沖縄に世界遺産のお城やお墓が色々あることに驚きました。説明を聞いて、その場所に行きたくなりました。(那覇市の小学生)
- ・ぶんか、れきし、てんねんきねんぶつや有名な生き物を教えてもらいました。わたしは今日のれきしやてんねんきねんぶつにとともきょうみを持ちました。ほかにもいろいろなことをしりたいと思いました。(那覇市の小学生)



今年の4月には那覇市立小緑小学校において国際交流活動の一環として、香港から教育旅行の児童17名との交流会が開催され、プログラムの中で沖縄の観光出前講座を行いました。海外の子供たちとの交流は、異文化への興味・関心を高め、その理解に繋げるきっかけとなります。また子供たちが積極的にコミュニケーションを図る態度を育て、さらにはお互いに学校の紹介や地域の伝統文化を伝えることで、学校や地域に対する誇りや愛着を育むことができ、観光への興味・関心に繋がる観光学習の一環となりました。



また、5月に大阪教育大学附属平野小学校の先生から相談があり、沖縄に興味を持っている子供たちに沖縄の魅力や特徴を伝えてほしいとの話があり、Facetime（テレビ電話）を用いた遠隔授業を実施しました。今年オープンしたばかりの空手会館から沖縄の歴史や、実施日にあたる5月15日にちなんだ本土復帰の話、沖縄の食材や調理方法の紹介、また空手の演舞、三線の演奏など盛り沢山の内容で授業を行いました。遠隔授業を受けた生徒からは、沖縄への興味が高まり、沖縄へ来たいとの感想がまとめられたレポートを多数いただき、空手会館に掲示を行いました。



上記以外でも沖縄における観光出前講座の取り組みは注目されており、「長崎県総おもてなし運動推進会議」の事務局でおもてなし運動の普及に取り組む長崎県観光連盟からは、長崎県の青年会議所に対して、観光出前講座を含めた沖縄県における「おもてなし」の県民啓発に係る取り組みについての講演、また実際に観光出前講座のデモンストラクションの依頼がありました。

観光出前講座を受けた県内の子供たちが、地域の魅力に気づき、県外の子供たち、そして観光客の皆様をおもてなしの心で受け入れる仕組みが根付いていくことが、持続的な沖縄観光に繋がる取り組みになると考えています。

3. おわりに

沖縄経済のリーディング産業として年々好調に推移する沖縄観光。

これまで官民一体となった積極的な誘客戦略の展開により、平成28年度は入域観光客数877万人と過去最高を記録し、2021年度には観光収入1兆1千億円、入域観光客数1,200万人を目標に掲げ、本格的な国際化時代が到来しています。

OCVBでは、今後も継続して観光教育に取り組み、県民の観光産業に対する理解及び関心を深めることで、日本国内はもちろん海外から来られる観光客を「うとういむち（おもてなし）」の心で温かく迎え入れる「ウェルカムんちゅ」の気運を高め、満足度の高い安全・安心・快適な観光地としての受入体制の充実を図り「世界水準の観光リゾート地」を目指していきます。

【お問い合わせ先】

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 受入事業部 受入推進課
〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831番地1（沖縄産業支援センター2階）

TEL：098-859-6129

広報チーム E-mail：pub@ocvb.or.jp

HONG KONG

アジア便り 香港 vol.113



レポーター
上原 和久 (琉球銀行)
沖縄県香港事務所に出向中
(副所長)

秋の香港、新空路、 イベントについて

はじめに

皆様こんにちは。沖縄県香港事務所の上原です。日の入りも早くなり、秋の気配も感じる今日この頃だと思います。皆様いかがお過ごしでしょうか？ここ香港でも日の入りが早くなるのを日に日に感じるとともに、夜風もだいぶ涼しく季節の移り変わりを感じております。高温で蒸し蒸しとした暑さは幾分と和らぎ、大分過ごしやすい季節となりました。香港の秋といえば中国の建国記念日となる国慶節や、中秋節（旧暦の8月15日）と日本には無い祝日があります。今回のアジア便りでは香港ならではの秋の祝日及び文化と、ついに直行便就航が決定したシンガポール便の情報、沖縄県関連のイベントについてご紹介致します。

1. 賑やかな秋の香港

【国慶節】

香港の祝日は旧暦に基づくものも多くありますが、国慶節は中国の建国記念日にあたることから、毎年10月1日となります。中国本土ではこの日を挟む1週間の大型連休となりますが、香港では当日のみが祝日です（今年度は日曜日のため翌月曜日が振替休日）。

この日を祝して様々な祝賀イベントが開催されますが、一番はビクトリア湾で大規模に打ち上げられる花火ショーです。今年度は香港返還20周年ということもあり、昨年度より1万発多い約3万発の花火が23分間にわたって打ち上げられました。鑑賞スポットには信じられないくらいの人で溢れかえっていたことから、私は少し離れた場所から鑑賞しました。延々と打ち上げられる花火は圧巻でした。



【中秋節の翌日】

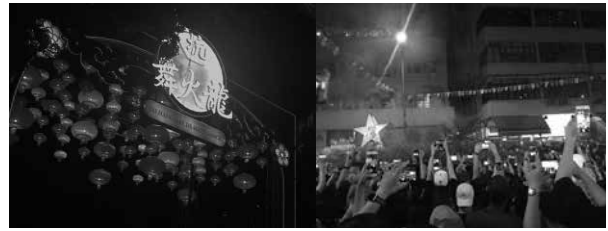
中秋節は旧暦8月15日のことで、日本でも中秋の名月ということで、お団子片手にお月見をする時期ですよね。ここ香港では、満月を家族円満の象徴とし、ランタンを持ち、外に出かけ家族・友人または恋人と共にお月見をしながら月餅という菓子を食する文化があります。お祝いムードも漂い夜遅くまで団欒がなされ、しかも翌日は祝日となっております。この時期に

なるとお店やビルのエントランス等にはランタンが飾られ、スーパーマーケットやケーキ屋等では、多くの種類の月餅が販売されています。中秋節は旧正月に次ぐ、香港の伝統行事とされており、街中至る所でその大切さを感じることができました。ビクトリア公園では、様々な形のランタンで彩られクリスマスイルミネーションのような雰囲気があり、多くの来場者で賑わいました。



【大抗火龍舞】

中秋節と同時期の旧暦8月14日～16日の3日間は、大抗という地域の通りにて、火が付いたお線香を刺した巨大な火龍舞（ファイヤードラゴン）を舞い踊るイベントが開催されます。一百年程前、大抗地域が台風や疫病流行等の災難が続いた際、ある占い師が「災いを止める唯一の方法は、間もなく訪れる中秋節に3日3晩火の舞を続けることだ」と断言しました。それを聞いた村人たちは藁で大きな龍を作り、線香でそれを覆い、火をつけ、言われたとおりに3日3晩踊り続けました。すると占い師の言う通り疫病がなくなった。—という歴史から、今でも伝統行事として行われているそうです。恒例行事となった今日では、海外のニュースでも取り上げられる等、大迫力のファイヤードラゴンを見るために多くの見物客が押し寄せます。私も一目見るために見物に行きましたが、多くの人で混雑し、通りが埋め尽くされていたため、遠くから少し見えた程度でした。立ち込める独特の線香の煙と匂いに加えて、観客の熱気の凄まじさ…来年は是非早めに行って近くで見物したいですね。



このように10月上旬だけでも香港ならではの文化をたくさん経験することが出来、伝統行事を大切にすることの大事さを感じることが出来ました。また、スポーツの秋らしく、女子テニスのワールドツアーである「香港オープン」が開催されます。旧暦9月9日にあたる重陽節の日にはスポーツや山登りをすると良いと言われており、先祖のお墓参りをする日でもあるそうです。月末にはハロウィーンで、街中が賑やかになる等、まだまだイベント続きで大賑わいの香港の秋となりそうです。

2. 祝！那覇—シンガポール直行便就航！

2017年11月17日(金)より那覇—シンガポール間の直行定期便の就航が開始されます。ニュースや新聞等でも大きく取り上げられていたため、既にご存知の方も多いと思いますが、中には特別セール期間中に早速チケットを確保し、フライトを楽しみにしている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。この直行便を運航するのはLCCのジェットスター・アジア航空で、同社の沖縄から海外への路線も初就航となります。使用機はエアバスA320(180席)で、週3往復、片道は約5時間10分(日本との時差はマイナス1時間)とされています。シンガポール人の主な旅行シーズンとして、週末や公休日の他に、学校休業期(3月中旬〈1週間〉、5月下旬～6月下旬〈約1カ月〉、9月中旬〈1週間〉、11月中旬～12月末〈約1カ月半〉)が挙げられています。今回の運航曜日も週末旅行客のニーズを捉えた設定となっており、旅行需要ピークを迎える冬休みの時期に運航が開始されるため、多くのシンガポール人が沖縄を訪れることでしょう。

便名	ルート	運行曜日	運行時期(現地時刻)
3k791	シンガポール→那覇	週3便(月、金、日)	02:20発 08:30着
3k792	那覇→シンガポール	週3便(月、金、日)	09:30発 13:40着

香港でも旅行の行き先として、日本は高い人気を誇っておりますが、シンガポールでも同様に日本は上位に位置づけられ、訪日リピーターの割合は7割にも上るとのことです。この直行便をきっかけに、リピーターの方を中心にこれまでとは違った日本旅行の行き先として、沖縄への誘客は大いに期待できます。また、シンガポールだけでなく、東南アジア周辺各国からも沖縄への訪問客増加に繋がるものと期待しています。

シンガポール基本データ (2016年調べ)

人口	561万人(うちシンガポール人393万人)
シンガポール人出国者数	912万人
チャンギ空港利用者	5,870万人
訪日シンガポール人	361,800人
訪沖シンガポール人	9,000人

3. 各種イベントについて

【遊牧市集 9月9日～10日】

9月9日から10日までの週末2日間、D2place というショッピングモール内のイベントスペースにて旅行関連のイベントが開催されました。旅行代理店やホテル、観光本等の企業がブースを出展する他、アクセサリ類の小物や、洋服、玩具類等を扱う個人の小売店も多数出展する中、当所も沖縄観光PRブースとして、パンフレットの配布に加え、フォトブース(沖縄天使の羽)の設置、ワークショップ(巾着作成)を実施しました。ほとんどの来場者が地元客で、小規模なイベントではありましたが、多くの来場者で賑わいを見せ、当所ブースでも多くの方々にワークショップを楽しんでいただいたり、フォトブースで撮った写真をSNSにアップしていただいたりと、良いPRの場とな

りました。石垣島マラソンのパンフレットも配布していたのですが、来場者の中には昨年参加された方もおられ、今年も申込をするといった声をお聴きし、改めて注目度の高さを感じました。



【縁日(EN×NICH I)】

10月13日～15日、18日～22日】

10月13日～15日を第1部、18日～22日を第2部として、日本のお祭りをモチーフとしたイベント「縁日(EN×NICH I)」がPMQというイベントモールで開催されました。

今年で5回目となる本イベントですが、昨年度は来場者数が4～5万人に上るなど毎年大賑わいを見せております。今年度は、第一部が縁日秋祭り、第二部は日本酒祭りとして計8日間開催され、イベント期間中には、日本の祭りスタイルで飲食ブースや金魚すくい等アトラクションが多く出展された他、浴衣コンテストや神輿わっしょい等のイベントも開催されました。また、「キングコング」(漫才コンビ)の西野亮廣氏や芸人「ぜんじろう」氏のイベントへの参加や、NHKの「どーもくん」の香港初上陸等も大きな話題となりました。第1部の最終日となる15日には台風接近による中止というアクシデントもありましたが、地元香港人は

もちろん、日本人から西洋人等まで、連日多くの来場者で賑わいました。また、県内メーカーが商品を卸している飲食店も出店されており、泡盛やソーセージを片手にお祭りを楽しむ来場者も多く見られました。



最後に

今月の広東語コーナーはタクシーを利用したケースについてです。タクシーの運転手は英語が通じないことも多く、普段は地図や住所を見せて目的地に向かうことがほとんどです。ちなみに香港のタクシー初乗りは24ドル（約360円）と日本より割安ですが、運転が荒かったり、トランク利用に6ドル（約90円）費用がかかったり、交代時間が近くなると遠方には応じてくれなかったりする等の困った一面もあります。

日本語	広東語 発音
タクシー乗り場はどこですか？	的士站 邊度呀 ディッスイズアーン ハイビンドゥア
タクシーを呼んでください	唔該 我想 叫的士 ンゴイ ンゴスエン ギウディッスイ
時間はどのくらいかかりますか？	大概 要幾耐 呀 ダーイコイ イウゲイノイ ア
空港まで行って下さい	唔該 去 機場 ンゴイ ホエイ ゲイツョン
ここへ行ってください	唔該 去 呢個地址 ンゴイ ホエイ ニゴディズイ
ここで止めてください	唔該 呢度落 ンゴイ ニドウロツ

当所では、日頃から県内企業・個人の皆様から香港に関する多くのご質問を頂いております。香港に関することにつきまして、ぜひ是非お気軽にお問い合わせください。

再見！

沖縄県香港事務所

Tel : (852) 2968-1006

Fax : (852) 2968-1003

E-mail : okinawaopg@bizetvigator.com

ATMで宝くじ はじめました



ATMでカンタン購入!

当せん金も自動振込!



詳しくは、**りゅうぎん**窓口またはHPまで

平成29年8月29日現在

入会のご案内

琉球銀行の経営理念である「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を实践するべく、お取引先企業への情報支援サービスの提供を目的に会員制組織「りゅうぎんビジネスクラブ」を設立し、各種セミナーの開催や情報のご提供、県外での商談会など様々なサービスを実施しております。

サービスのご案内

■各種セミナーの開催による情報等の提供
ビジネスクラブ会員企業トップと弊行役員との親睦の場を兼ねたトップセミナーや実務セミナーに無料で参加いただけます。

【最近の実績】

- H28.11.9 「老舗企業の経営革新」
- H29.2.22 トップセミナー「経営戦略としてのワークライフバランス」
- H29.6.20 「業績向上！営業リーダーの条件と役割」
- H29.8.17 「インバウンドビジネス成功戦略」

■「経営参考小冊子」の定期配送

企業運営に有益な情報が盛り込まれた「経営参考小冊子」をお届けいたします。

【内容例】

- ・「仕事が速い人」の時間の使い方
- ・実践「営業トーク」集
- ・好かれる人の「気づかい」
- ・ビジネスモデルをつくった人々

■専門家派遣サービス

公認会計士・税理士・司法書士・中小企業診断士・社会保険労務士・行政書士などの各種専門家を無料で派遣し、会員企業様の「経営課題」に対し、会員企業様・専門家・琉球銀行が一体となって取り組むサービスです。
※1社につき年1回ご利用になれます。

■「りゅうぎんマネジメントスクール」の開講

企業経営者や経営幹部を対象にした、ビジネススクールの運営を実施しております。
※別途受講料が必要になります。

【著名な講師例】

- ・第1期 酒巻 久 キヤノン電子株式会社社長
- ・第2期 鈴木 喬 エステー(株)会長
- ・第3期 出口 治明 ライフネット生命保険株式会社CEO
- ・第4期 宗次 徳二 (株)吉番屋 創業者特別顧問
- ・第5期 高田 明 (株)A and Live 代表取締役
- ・第6期 橋本 真由美 フックオフコーポレーション(株)取締役相談役
- ・第7期 小島 英揮 Still Day One(同)代表社員/パラレルマーケター・イベントジェネリスト/CMC_Meetup発起人

■「りゅうぎんビジネスフラッシュ」定期配信

税務・会計・法務・人事・労務など、経営のお役に立つ情報レターを毎週FAX配信いたします。

【内容例】

- ・「残業規制時代」に企業ができること
- ・人事トラブルを防ぐ実務対応Q & A
- ・情報を引き出す「質問力」向上のポイント
- ・次世代の経営リーダーを育てるには

その他のサービス

■融資利率の優遇

りゅうぎんビジネスクラブ会員企業の皆様に一部融資商品(ベストサポーター、順風満帆)について、融資金利の優遇を実施しております¹。詳細は取引店担当者にお問い合わせ下さい。

りゅうぎんビジネスクラブ
入会申込方法
年会費 20,000円

- 1 「りゅうぎんビジネスクラブ入会申込書」に必要事項を記入の上、取引店担当者に提出下さい。
- 2 入会金は不要です。
- 3 年会費は20,000円です。 ※お申込月の翌々月4日ご指定口座より引落となります。

お問い合わせ

「りゅうぎんビジネスクラブ事務局」(琉球銀行法人事業部内)

TEL:098-860-3817 (担当:照屋、真栄城)までお願いいたします。

¹ 審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について 省エネルギーの普及・啓発の取組

(1) 省エネルギー関連パネル展

9月23日(土)～24日(日)の期間中、「省エネルギー設備導入等促進広報事業(省エネ実践教室・省エネ啓発事業及びエネルギー使用合理化シンポジウム)」の委託事業の一環として、イオンモール沖縄ライカム店で省エネルギー関連パネル展を開催し、買い物に来た一般の方へ省エネルギー(以下、「省エネ」という。)に関するクイズラリーを行いました。当該パネル展では、家庭内で実践できる省エネ行動の具体例を題材に、電子レンジを利用した野菜の調理方法、省エネ性能の高い家電への買い換え、アクセルブレーキなど運転方法による省エネなど、効果的で実践しやすい家庭での省エネ行動について、エネルギーコストを比較しながら紹介しました。

当該パネル展での紹介のほか、家庭及び事業所等の省エネ取組については、下記の資源エネルギー庁ホームページで情報提供を行っておりますので是非御活用ください。

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/



省エネクイズに挑戦する親子の様子
(イオンモール沖縄ライカム店)

(2) 沖縄総合事務局「子ども見学デー」における省エネパネル展・体験教室の開催


8月2日(水)に沖縄総合事務局(以下、「局」という。)内で行った「子ども見学デー」は、子どもたちが広く社会を知る体験活動の機会を設けるとともに、行政の仕事に関心を持ってもらい理解を深めてもらうことを目的とし開催しました。

子ども見学デーには、局の6つの部から出展した23個のプログラムに、579名の来場者(子ども378名、大人201名)が訪れ、会場を盛り上げました。そのプログラムの1つとして、「エネルギーに関する体験教室/省エネパネル展」と題し、次世代を担うこどもたちを対象に、省エネに関するクイズや断熱ガラスによる実験を行い、エネルギーの大切さや家庭で実践できる省エネ行動のための工夫について紹介しました。また、自転車発電の体験では、実際にLEDと白熱球の発電の違いを体験してもらうことで「なぜ省エネが必要なのか」、「省エネに繋がる行動とは」について啓発を行いました。



自転車発電でLEDと白熱球の発電の違いを比較する様子
(那覇第2合同庁舎沖縄総合事務局)

最後となりますが、家庭や企業等などのエネルギー使用量が増大傾向にあり、省エネの必要性はさらに高まっています。そのため、今後も当局では、地方自治体と連携し家庭や事業所などへきめの細かい省エネサポート及び啓発を図ることを目指していきます。

 内閣府沖縄総合事務局
経済産業部

■本記事に関するお問い合わせについて
内閣府沖縄総合事務局経済産業部エネルギー対策課
TEL:098-866-1759 (担当:仲西、渡名喜)

<http://ogb.go.jp/keisan/index.html>

クレジットカードじゃないから、誰でも使えて安心。

りゅうぎん Visaデビットカード

現金いらずで 即決済

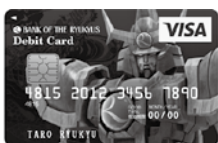
24h OK 365days OK

審査不要

満15歳以上(中学生除く)の
個人の方がお申込み対象となります。




スゴイぞ、デビット。



《サービスについて》【ご利用対象者】契約時の年齢が満15歳以上(中学生を除く)の個人で、当行に普通預金口座をお持ちであること【年会費】500円(税別)※初年度無料。2年目以降は、前年度のご利用実績が5万円以上であれば無料【ご利用シーン】●ショッピング:国内外約3,800万カ所のVisa加盟店(インターネット取引含む) ●海外ATM:海外のVisaマーク、PLUSマークがあるATMでの現地通貨のお引出し ※利用手数料:1回につき200円(税別)、その他為替手数料:利用金額×3.0%【ご利用時間】24時間365日【ご利用限度額】普通預金残高または次のご利用限度額のいずれか低い額。(1日あたりのご利用限度額(初期設定値)国内・海外ショッピング、海外ATM引出し…各50万円

詳しくはりゅうぎん窓口までお問い合わせください。

 琉球銀行
平成28年1月4日現在

県内大型プロジェクトの動向

事業名：かりゆし新規ホテルプロジェクト

種別：公共 (民間) 3セク

関係地域	那覇市、名護市、宜野座村
事業主体	主体名：株式会社かりゆし(當山智士社長) 所在地：那覇市前島3丁目25番1号 とまりんビル2・3F 電話：098-869-2896
事業目的	・かりゆし新規ホテルプロジェクトにより2020年までに、「都市型ラグジュアリーホテル」「リアルウエルネスホテル」「ビーチサイド型ローコストホテル」という3つの異なるコンセプトのホテルを新設する。 ・那覇空港の第2滑走路が供用される2020年を沖縄大観光時代の幕開けの年と位置づけ、かりゆし新規ホテルプロジェクトの合計客室数484室を含め、2020年時点のかりゆしグループ全体の客室供給体制を現在の約1200室から2000室へ増やし、事業拡大を図る。
事業期間	2017年9月～2020年
事業規模	3ホテル(合計客室数484室)
事業費	約55億円
事業概要	<p>■OKINAWA EXES NAHA(オキナワ エグゼス ナハ) 所在地：那覇市泉崎1-11-5、1-11-9 開業予定：2019年4月 敷地面積：1,100㎡ 構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 階数：地上10階 客室数：67室 収容人員：207名 客室面積：41㎡～65㎡ 内容：1階／フロント、鉄板焼きレストラン、駐車場及び立体駐車場 2階／個室スタイル・ダイニングレストラン、バーラウンジ、アウトドアプール 3～10階／ゲストルーム ホテルタイプ：ラグジュアリーホテル</p> <p>■(仮称)KARIYUSHI LCH. RESORT On The Beach(カリユシエルシーエイチリゾートオンザビーチ) 所在地：名護市喜瀬1993 他14筆 開業予定：2019年4月 敷地面積：9,617㎡ 構造：鉄筋コンクリート造 階数：地上4階 客室数：117室 収容人員：307名 客室面積：12㎡～49㎡ 内容：1階／ホテルフロント、ビーチフロント、プール、コンビニ+イトインコーナー、多目的ホール 2階～4階／ゲストルーム ホテルタイプ：ローコストホテル</p> <p>■(仮称)KARIYUSHI THALASO RESORT GINOZA(カリユシ タラソリゾート ギノザ) 所在地：宜野座村漢那207、258 他 開業予定：2020年6月 客室数：300室 ホテルタイプ：リアルウエルネスホテル</p>
経緯	2017年7月 「かりゆし新規ホテルプロジェクト」を発表 2017年9月 OKINAWA EXES NAHA建設工事着工 2017年冬 KARIYUSHI LCH.RESORT On The Beach 建設工事着工予定

<p>現況及び見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県の入域観光客数は、近年増加を続け、2016年度は877万人と前年度比10.5%増加し過去最高を記録した。特に近年はインバウンド客の伸びが目覚ましく、16年度は対前年度比27.5%もの大幅な増加となった。 ・インバウンド客の動向には出発国の所得や目的国との近さ、ビザ免除措置、目的国の為替水準などが影響することが知られており、アジア各国における国民の一人当たりGDPが増加する中、アジアに近接する沖縄は今後ともインバウンド客の増加が見込まれている。 ・かりゆしグループの現在の供給客室数は、7ホテルで合計1,060室である。かりゆしコンドミニウムリゾート39施設の143室を加えた総供給客室数は1,203室である。かりゆしグループは、国内県内はもちろん近年急速に増加しているインバウンド客に至るまでさまざまな宿泊客のニーズに対応する体制を築いている。 ・かりゆしコンドミニウムリゾートは、県内各地のコンドミニウムやマンションなどの部屋を施設オーナーと提携を行い宿泊客に貸し出す事業である。2015年4月の事業開始後、管理施設が順調に拡大しており、2016年8月には旅館業法などの法令順守を促進すべく沖縄県コンドミニウムリゾート協会が立ち上がったところである。 ・新設するOKINAWA EXES NAHAは、都市型の富裕層向け高級ホテルとして、最大65㎡のゆったりとした客室を確保し、最上階にはプール付き客室も設ける。ラグジュアリーブランドであるエグゼスシリーズの3つ目のホテルとなる。 ・KARIYUSHI THALASO RESORT GINOZAIは、海水を使った温浴施設「かりゆしカナタラソラグーナ」に隣接し、かりゆしグループ初のリアルウエルネスブランドホテルとして、インバウンド客やスポーツキャンプなどのウエルネスツーリズム客の宿泊需要に対応する。 ・KARIYUSHI LCH.RESORT On The Beachは、低価格と快適・安心の両立を基本コンセプトとするLCHブランドシリーズの4つ目にして初のリゾート立地型となる。
<p>進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・OKINAWA EXES NAHAは、2019年9月の工事着手後、建設工事が進行中であり、2019年4月のホテルの開業をめざす。 ・KARIYUSHI LCH. RESORT On The Beachは、2017年冬の工事着手にむけて調整中である。 ・KARIYUSHI THALASO RESORT GINOZAIは、現在、基本設計・実施設計をすすめているところである。
<p>熟 度</p>	<p><input type="checkbox"/> 構想段階 <input checked="" type="checkbox"/> 計画段階 <input checked="" type="checkbox"/> 工事段階 <input type="checkbox"/> 開業・供用段階</p>

OKINAWA EXES NAHA完成イメージ



KARIYUSHI LCH.RESORT On The Beach完成イメージ



KARIYUSHI THALASO RESORT GINOZA完成イメージ



(図はすべて株式会社かりゆし提供)

●りゅうぎん調査● 県内の

景気動向

概況 2017年9月

景気は、拡大の動きが強まる

観光関連では、入域観光客が前年を上回る

建設関連では、セメント・生コンが前年を上回る

9月の県内景気を見ると、消費関連では、百貨店は旧盆が9月に後ずれした（前年は8月）ことにより中元ギフトが伸長したことなどから前年を上回り、スーパーは食料品で旧盆関連商材が伸長したことから前年を上回った。耐久消費財では、新車販売は小型乗用車や軽乗用車の増加などから前年を上回り、電気製品卸売は白物家電や太陽光発電システムの減少などから前年を下回った。

建設関連では、公共工事は国、県、市町村は減少したことから前年を下回った。建築着工床面積（8月）は居住用、非居住用ともに増加したことから前年を上回り、新設住宅着工戸数（8月）は持家、貸家は増加したことから前年を上回った。建設受注額は、公共工事、民間工事ともに減少したことから前年を下回った。

観光関連では、入域観光客数は60カ月連続で前年を上回った。国内客、外国客ともに前年を上回った。主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を下回った。9月は前年と比べて日並びが悪かった（前年は飛び石連休あり）ことや、台風18号の影響でホテル等のキャンセルやクルーズ船の欠航などもあり、観光関連は伸びが鈍化した。

総じてみると、消費関連、観光関連が好調に推移しており、建設関連も概ね好調なことから、県内景気は拡大の動きが強まっている。

消費関連

百貨店売上高は、旧盆の後ずれ(前年は8月)による中元ギフトの伸長や催事効果で食料品が伸びたことや、外国人観光客による消費が好調だったことなどから2カ月連続で前年を上回った。スーパー売上高は、食料品は旧盆関連商材が伸長したことや精肉などが好調だったことから増加、住居関連も家電や化粧品が好調だったことなどから増加し、全店ベースは2カ月ぶりに前年を上回った。新車販売台数は、小型乗用車や軽乗用車の増加などから2カ月連続で前年を上回った。電気製品卸売販売額は、白物家電や太陽光発電システムの減少などから3カ月ぶりに前年を下回った。

先行きは、高い消費マインドや外国人観光客の増加などから引続き好調を維持するとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、独立行政法人等・その他は増加したが、国、県、市町村は減少したことから、7カ月ぶりに前年を下回った。建築着工床面積(8月)は、居住用、非居住用ともに増加したことから3カ月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数(8月)は、分譲は減少したが、持家、貸家は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに減少したことから3カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、セメントは前年を上回り、生コンは公共工事向け出荷の増加などにより前年を上回った。鋼材は受注工事の進捗に動きがみられることなどから前年を上回り、木材は住宅関連工事向け出荷の増加などから前年を上回った。

先行きは、公共工事や新設住宅着工が高水準で推移することが予想され、引き続き概ね好調な動きが続くものとみられる。

観光関連

入域観光客数は、60カ月連続で前年を上回った。国内客は18カ月連続で前年を上回り、外国客は7カ月連続で前年を上回った。外国客は、空路利用客、海路利用客ともに増加した。方面別に寄与度でみると台湾は減少したものの、中国本土、韓国、香港は増加した。

県内主要ホテル(速報値)は、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を下回った。主要観光施設入場者数は7カ月ぶりに前年を下回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに4カ月連続で前年を上回った。

先行きは、アジア方面からの外国客の旅行需要は根強いことや、航空路線の拡充などから、好調に推移するものとみられる。

雇用関連・その他

新規求人数は、前年同月比2.0%減となり11カ月ぶりに前年を下回った。産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉などで増加し、サービス業、生活関連サービス業・娯楽業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.08倍と、前月より0.03ポイント低下した。完全失業率(季調値)は3.4%と前月より0.2%ポイント悪化した。

消費者物価指数(総合)は、光熱・水道や食料などの上昇により、前年同月比0.8%増と12カ月連続で前年を上回った。

企業倒産は、件数が1件で前年同月を1件下回った。負債総額は1,600万円で前年同月比93.3%の減少だった。

2017.9

りゅうぎん調査

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2017.7-2017.9)
消費関連		
(1) 百貨店(金額)	4.2	3.1
(2) スーパー(既存店)(金額)	11.5	2.6
(3) スーパー(全店)(金額)	13.1	3.8
(4) 新車販売(台数)	6.3	0.4
(5) 電気製品卸売(金額)	▲ 1.8	4.6
建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	▲ 38.3	13.3
(2) 建築着工床面積(m ²)	(8月) 61.1	(6-8月) 83.5
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(8月) 31.7	(6-8月) 15.7
(4) 建設受注額(金額)	▲ 56.0	5.6
(5) セメント(トン数)	8.0	18.0
(6) 生コン(m ³)	2.0	12.9
(7) 鋼材(金額)	39.1	29.4
(8) 木材(金額)	7.1	9.8
観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	5.6	8.8
うち外国客数(人数)	14.8	22.9
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P▲2.2 (実数) P88.4	(前年同期差) P▲0.9 (実数) P87.9
(3) " 売上高(金額)	P▲5.7	P▲1.4
(4) 観光施設入場者数(人数)	▲ 2.9	2.3
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	4.1	3.7
(6) " 売上高(金額)	0.5	2.9
その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	▲ 2.0	4.1
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数) 1.08	(実数) 1.11
(3) 消費者物価指数(総合)	0.8	0.7
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) ▲ 1	(前年同期差) 1
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(8月) 2.6	(6-8月) ▲ 0.9

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2016年7月より調査先を26ホテルから25ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

(注6) 建設受注額は、2017年8月より調査先を20社から19社とした。

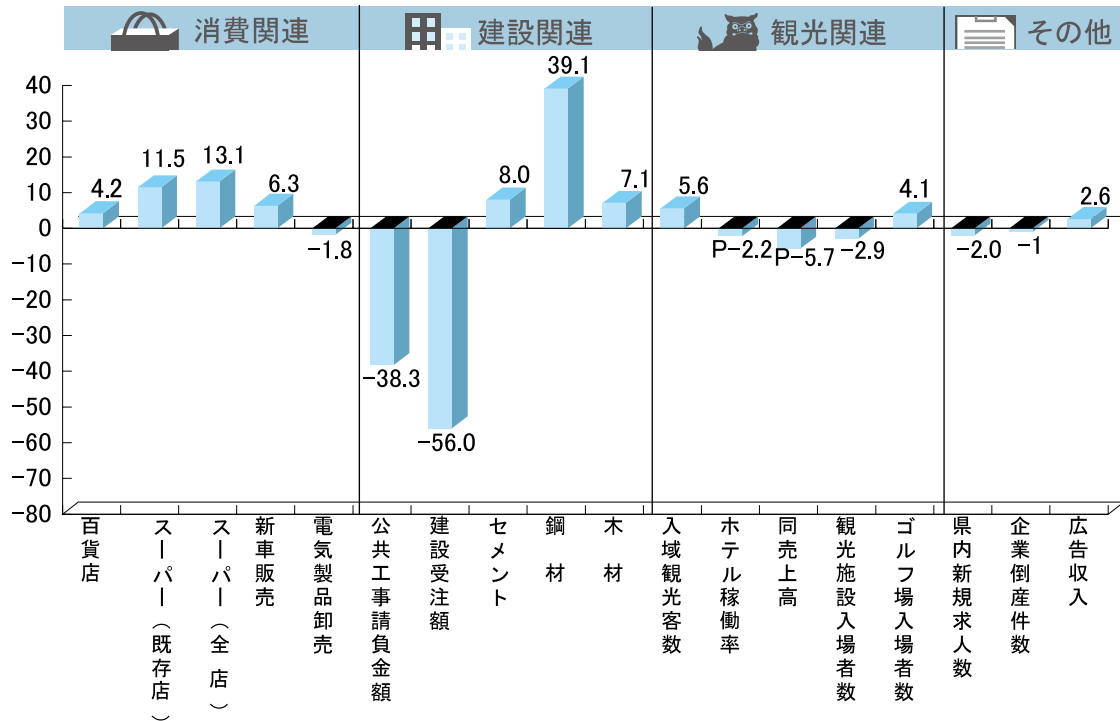
消費関連

建設関連

観光関連

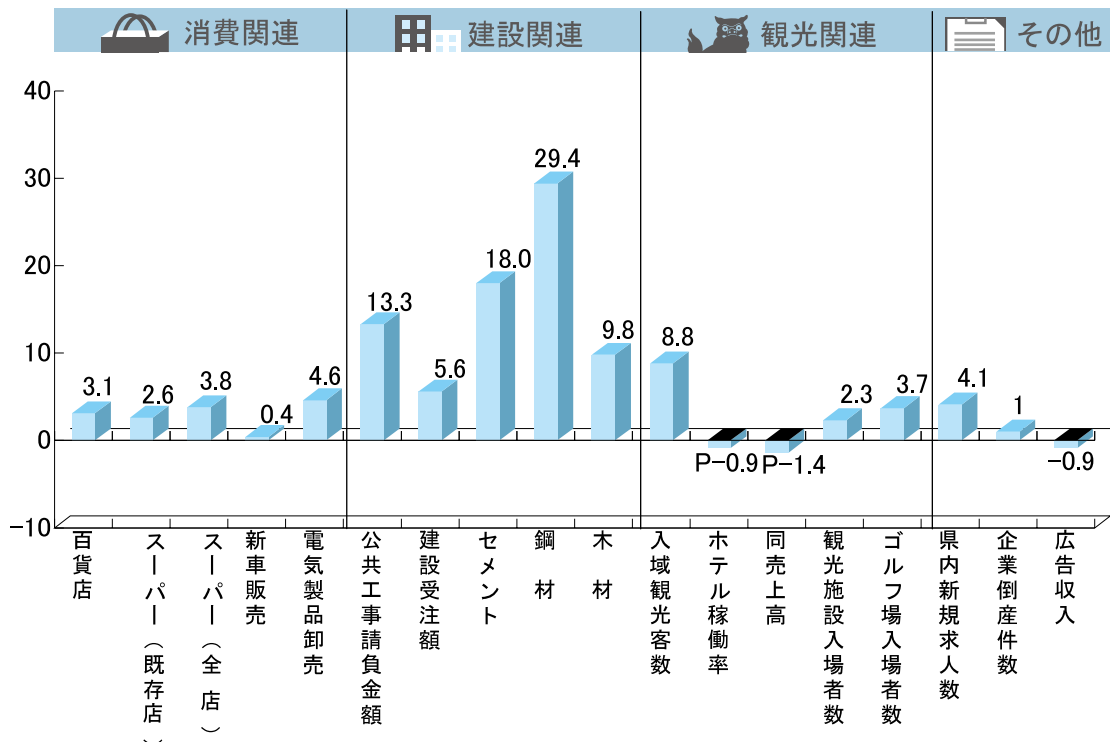
その他

項目別グラフ 単月 2017.9



(注) 広告収入は17年8月分。数値は前年比(%)。
 ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

項目別グラフ 3カ月 2017.7~2017.9



(注) 広告収入は17年6月~17年8月分。数値は前年比(%)。
 ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

消費関連

建設関連

観光関連

その他

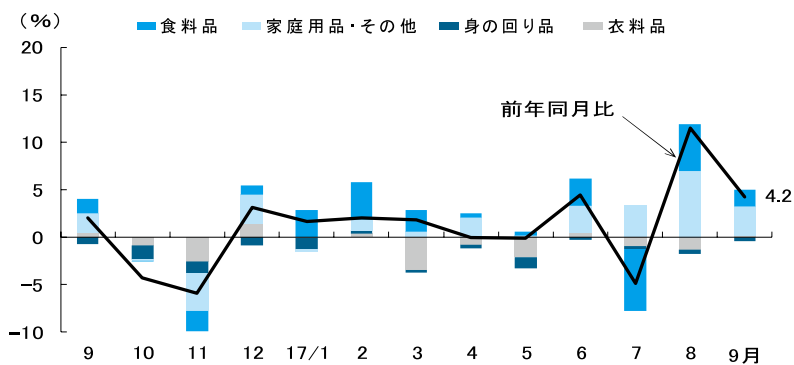
消費関連

① 百貨店売上高 (前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

2カ月連続で増加

- 百貨店売上高は、前年同月比4.2%増と2カ月連続で前年を上回った。食料品は旧盆の後ずれ(前年は8月)による中元ギフトの伸長や催事効果などから増加し、家庭用品・その他は外国人観光客による消費が好調で化粧品が伸長したことなどから増加した。身の回り品は婦人雑貨が苦戦したことなどから減少し、衣料品は秋冬物の動きが鈍かったことなどから減少した。
- 品目別にみると、家庭用品・その他(同9.4%増)、食料品(同7.2%増)は増加したが、身の回り品(同5.4%減)、衣料品(同0.8%減)は減少した。

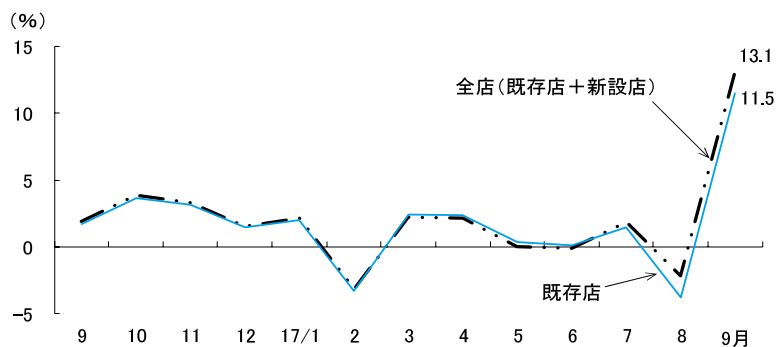


(注)2014年9月より調査先百貨店が一部変更となった。
出所:りゅうぎん総合研究所

② スーパー売上高 (前年同月比)

全店ベースは2カ月ぶりに増加

- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比11.5%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- 食料品は、旧盆の後ずれで関連商材が伸長したほか、精肉や飲料も好調だったことなどから同13.4%増となった。衣料品は、夏物や子供服が伸長したことなどから同1.5%増となった。住居関連は、エアコンやTVなどの家電や化粧品が好調だったことなどから同6.8%増となった。
- 全店ベースでは13.1%増と2カ月ぶりに前年を上回った。



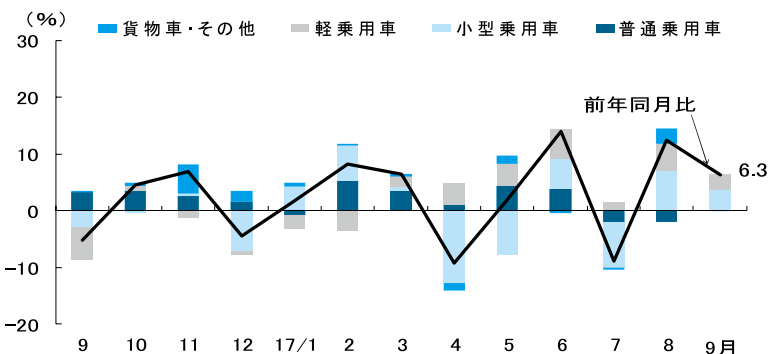
出所:りゅうぎん総合研究所

③ 新車販売台数 (前年同月比)

※棒グラフは車種別寄与度

2カ月連続で増加

- 新車販売台数は3,981台となり、前年同月比6.3%増と2カ月連続で前年を上回った。普通自動車は、小型乗用車が自家用車需要の伸長で増加したことなどから前年を上回った。軽乗用車は、レンタカー需要の増加や自家用車需要が持ち直してきたことなどから前年を上回った。
- 普通自動車(登録車)は1,664台(同1.3%増)で、うち普通乗用車は553台(同0.2%増)、小型乗用車は864台(同19.5%増)であった。軽自動車(届出車)は2,317台(同10.2%増)で、うち軽乗用車1,876台(同5.5%増)であった。



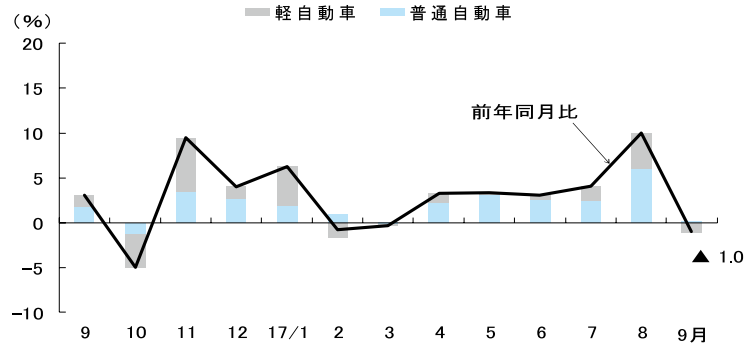
出所:沖縄県自動車販売協会

④ 中古自動車販売台数【登録ベース】

※棒グラフは車種別寄与度

6カ月ぶりに減少

- ・中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万6,506台で前年同月比1.0%減と6カ月ぶりに前年を下回った。
- ・内訳では、普通自動車は6,431台（同0.4%増）、軽自動車は1万75台（同1.8%減）となった。



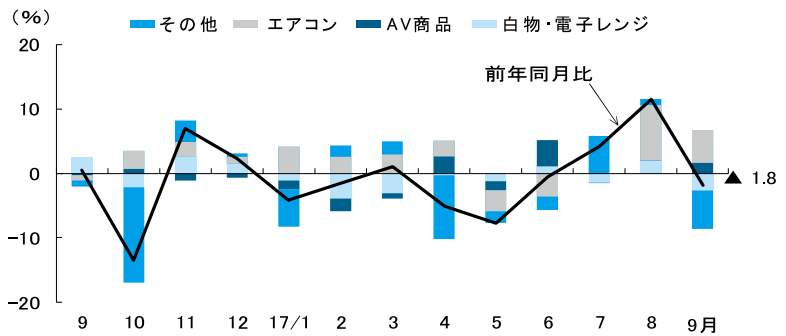
出所：沖縄県中古自動車販売協会 ※登録ベース

⑤ 電気製品卸売販売額（前年同月比）

※棒グラフは品目別寄与度

3カ月ぶりに減少

- ・電気製品卸売販売額は、エアコンやBDレコーダーなどは伸長したものの、白物家電や太陽光発電システムなどは減少したことなどから前年同月比1.8%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではBDレコーダーが同56.6%増、テレビが同3.3%増、白物では洗濯機が同12.5%減、冷蔵庫が同5.7%減、エアコンが同55.9%増、太陽光発電システムを含むその他は同10.6%減となった。



出所：りゅうぎん総合研究所

消費関連

建設関連

観光関連

その他

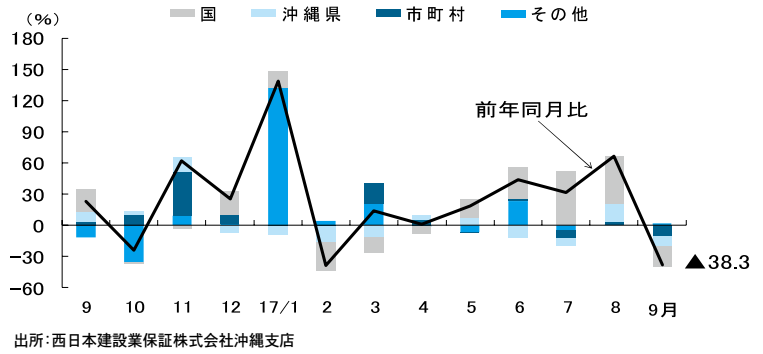
建設関連

① 公共工事請負金額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

7カ月ぶりに減少

- ・公共工事請負金額は、233億6,300万円で、独立行政法人等・その他は増加したが、国、県、市町村は減少したことから、前年同月比38.3%減となり、7カ月ぶりに前年を下回った。
- ・発注者別では、国(同59.5%減)、県(同29.9%減)、市町村(同33.0%減)は減少し、独立行政法人等・その他(同68.1%増)は増加した。
- ・大型工事としては、那覇空港西側地区エプロン新設工事、石垣市石垣西浄化センター建設工事などがあつた。

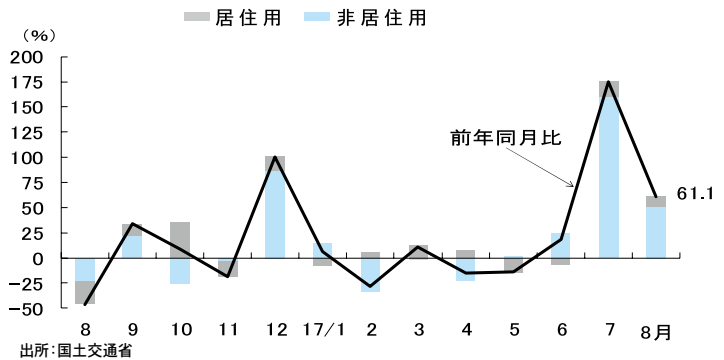


② 建築着工床面積 (前年同月比)

※棒グラフは用途別寄与度

3カ月連続で増加

- ・建築着工床面積(8月)は19万3,208㎡となり、居住用、非居住用ともに増加したことから、前年同月比61.1%増と3カ月連続で前年を上回った。用途別では、居住用は同16.6%増、非居住用は同146.8%増となった。
- ・建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用などが増加した。非居住用では、飲食店・宿泊業用、卸売・小売業用などが増加した。

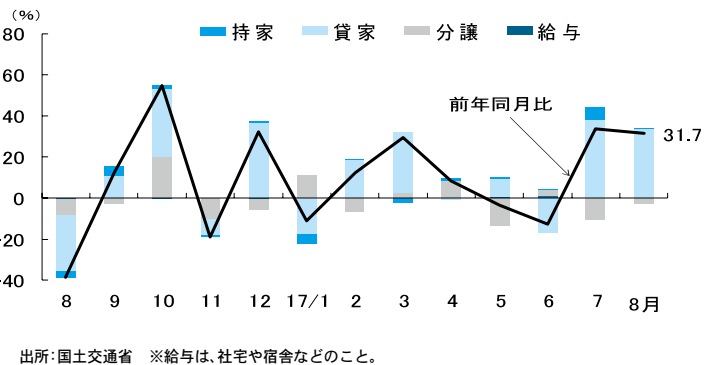


③ 新設住宅着工戸数 (前年同月比)

※棒グラフは利用関係別寄与度

2カ月連続で増加

- ・新設住宅着工戸数(8月)は1,425戸となり、分譲は減少し、給与は全減となったが、持家、貸家は増加したことから、前年同月比31.7%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・利用関係別では、持家(292戸)が同0.3%増、貸家(1,041戸)が同54.5%増と増加し、分譲(92戸)が同20.7%減と減少し、給与(0戸)が全減となった。



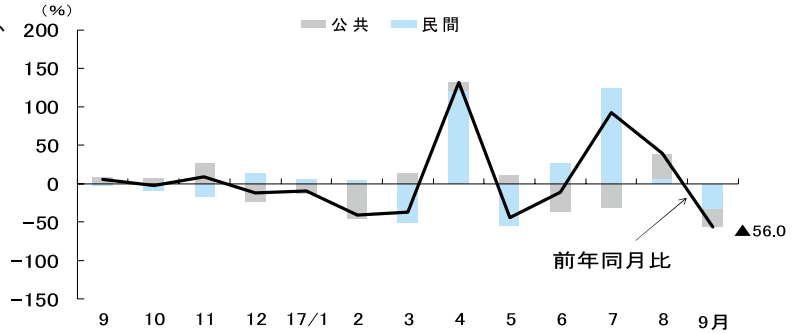
消費関連
建設関連
観光関連
その他

④ 建設受注額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

3カ月ぶりに減少

- ・建設受注額(調査先建設会社:19社)は、公共工事、民間工事ともに減少したことから、前年同月比56.0%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・発注者別では、公共工事(同67.3%減)は2カ月ぶりに減少し、民間工事(同49.8%減)は4カ月ぶりに減少した。

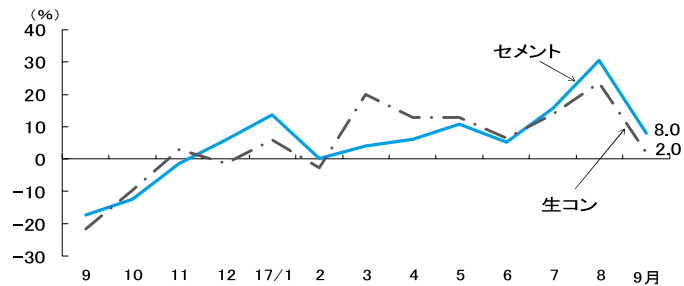


出所:りゅうぎん総合研究所

⑤ セメント・生コン(前年同月比)

セメントは10カ月連続で増加、生コンは7カ月連続で増加

- ・セメント出荷量は8万990トンとなり、前年同月比8.0%増と10カ月連続で前年を上回った。
- ・生コン出荷量は13万9,382m³で同2.0%増となり、公共工事向け出荷の増加などから7カ月連続で前年を上回った。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、空港関連や公共施設工事向け出荷などが増加し、学校関連工事向け出荷などが減少した。民間工事では、宿泊施設工事向け出荷などが増加し、分譲マンション工事向け出荷などが減少した。

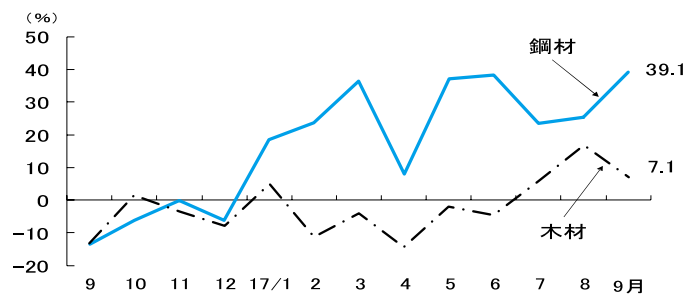


出所:りゅうぎん総合研究所

⑥ 鋼材・木材 (前年同月比)

鋼材は9カ月連続で増加、木材は3カ月連続で増加

- ・鋼材売上高は、受注工事の進捗に動きがみられることから前年同月比39.1%増と9カ月連続で前年を上回った。
- ・木材売上高は、住宅関連工事向け出荷の増加などから同7.1%増と3カ月連続で前年を上回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

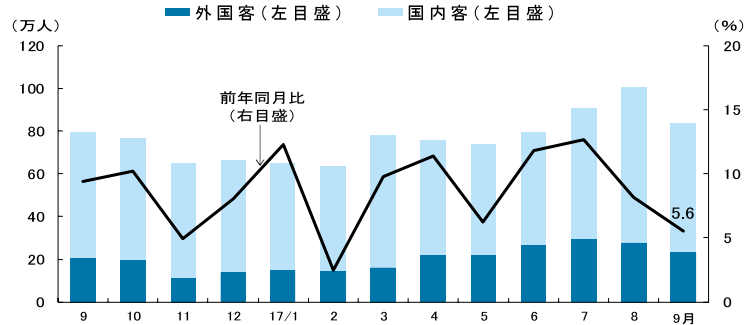


観光関連

① 入域観光客数(実数、前年同月比)

9月の過去最高更新、 単月の過去最高を47カ月連続更新

- ・入域観光客数は、前年同月比5.6%増の83万7,100人と、60カ月連続で前年を上回った。国内客、外国客ともに増加した。国内客は、同2.4%増の60万3,600人となり18カ月連続で前年を上回った。
- ・路線別では、空路は74万7,500人(同4.7%増)と60カ月連続で前年を上回った。海路は大型クルーズ船の寄港により8万9,600人(同13.1%増)と4カ月連続で前年を上回った。

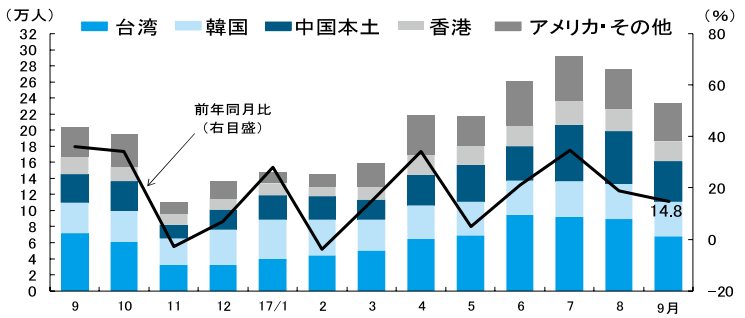


出所:沖縄県観光政策課

② 入域観光客数【外国客】(実数、前年同月比)

7カ月連続で増加

- ・入域観光客数(外国客)は、前年同月比14.8%増の23万3,500人となり、7カ月連続で前年を上回った。空路利用客は航空路線の拡充で前年を上回り、海路利用客は大型クルーズ船の寄港により4カ月連続で前年を上回った。
- ・国籍別では、台湾6万7,800人(同5.0%減)、中国本土4万9,900人(同40.6%増)、韓国4万3,200人(13.1%増)、香港2万5,400人(同19.8%増)、アメリカ・その他4万7,200人(同27.2%増)であった。

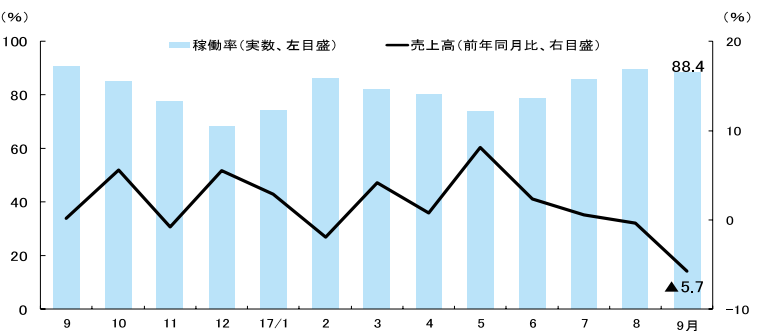


出所:沖縄県観光政策課

③ 主要ホテル稼働率・売上高(実数、前年同月比)

稼働率は2カ月連続で低下、 売上高は2カ月連続で減少

- ・主要ホテル(速報値)は、客室稼働率は88.4%となり、前年同月比2.2%ポイント低下し2カ月連続で前年を下回った。売上高は同5.7%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・那覇市内ホテル(速報値)は、客室稼働率は88.4%と同1.3%ポイント低下し2カ月ぶりに前年を下回り、売上高は同2.2%減と2カ月ぶりに前年を下回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は88.4%と同2.7%ポイント低下して2カ月連続で前年を下回り、売上高は同6.9%減と2カ月連続で前年を下回った。



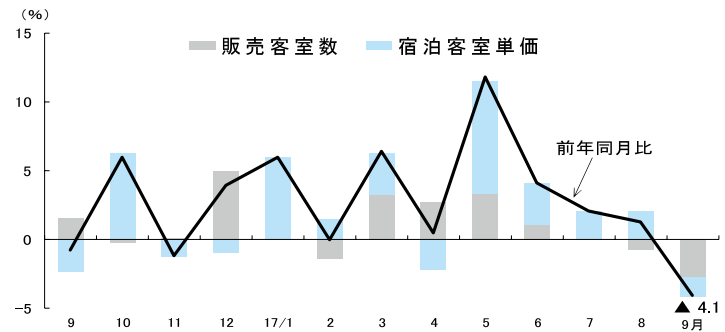
出所:りゅうぎん総合研究所

④ 主要ホテル宿泊収入 (前年同月比)

※棒グラフは客室数・単価別寄与度

7カ月ぶりに減少

- ・主要ホテル売上高のうち宿泊収入(速報値)は、販売客室数(数量要因)、宿泊客室単価(価格要因)ともに低下し、前年同月比4.1%減と7カ月ぶりに前年を下回った。
- ・那覇市内ホテル(速報値)は、販売客室数は減少、宿泊客室単価は上昇し、同0.3%増と2カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに低下し、同5.3%減と7カ月ぶりに前年を下回った。

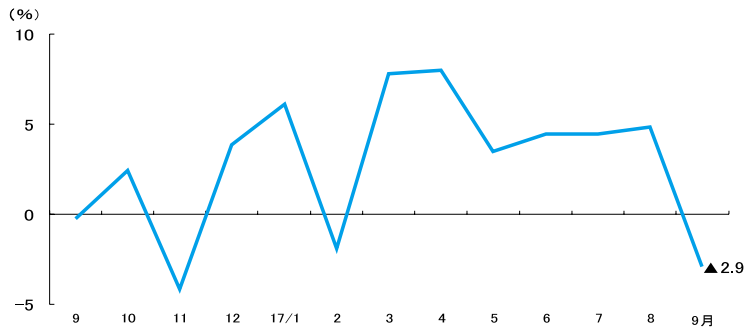


出所:りゅうぎん総合研究所

⑤ 主要観光施設の入場者数(前年同月比)

7カ月ぶりに減少

- ・主要観光施設の入場者数は、前年同月比2.9%減となり、7カ月ぶりに前年を下回った。

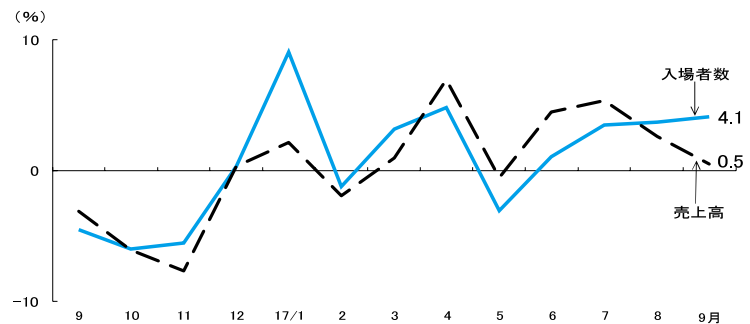


出所:りゅうぎん総合研究所

⑥ 主要ゴルフ場入場者数・売上高(前年同月比)

入場者数、売上高ともに 4カ月連続で増加

- ・主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比4.1%増と4カ月連続で前年を上回った。県内客は4カ月連続で前年を上回り、県外客は7カ月連続で前年を上回った。
- ・売上高は同0.5%増と4カ月連続で前年を上回った。



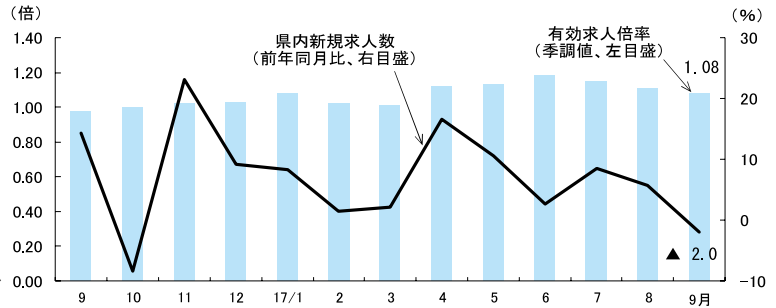
出所:りゅうぎん総合研究所 (注)調査先は8施設(うち県外客については6施設)からなる。

雇用関連・その他

① 雇用関連（新規求人数と有効求人倍率）

新規求人数は減少、有効求人倍率(季調値)は低下

- ・新規求人数は、前年同月比2.0%減となり11カ月ぶりに前年を下回った。産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉などで増加し、サービス業、生活関連サービス業・娯楽業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.08倍と、前月より0.03ポイント低下した。
- ・労働力人口は、70万人で同0.7%減となり、就業者数は67万7,000人で同0.4%減となった。完全失業者数は2万4,000人で同7.7%減となり、完全失業率(季調値)は3.4%と前月より0.2%ポイント悪化した。



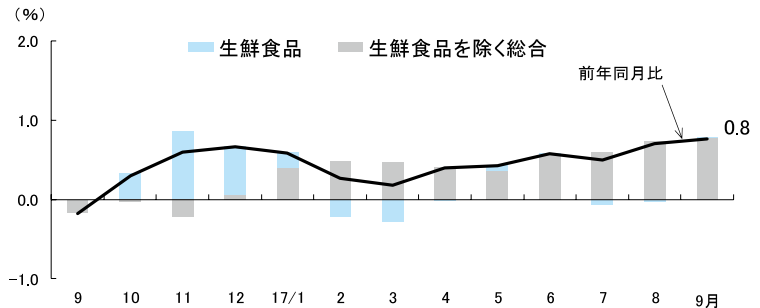
出所：沖縄労働局
 (注)有効求人倍率は、2016年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

② 消費者物価指数【総合】(前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

12カ月連続で上昇

- ・消費者物価指数は、前年同月比0.8%増と12カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合も同0.8%増と前年を上回った。
- ・品目別の動きをみると、光熱・水道や食料などは上昇し、住居などは下落した。

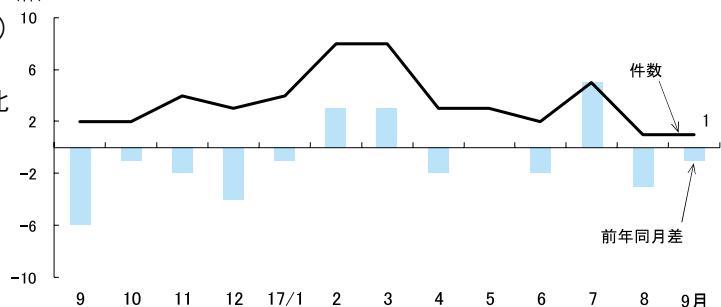


出所：沖縄県(注1)端数処理の関係で寄与度の合計は前年比と一致しないことがある。
 (注2)2016年7月より2015年=100に改定された。

③ 企業倒産

件数、負債総額ともに減少

- ・倒産件数は、1件で前年同月を1件下回った。業種別では、卸売業1件(同数)だった。
- ・負債総額は、1,600万円となり、前年同月比93.3%の減少だった。



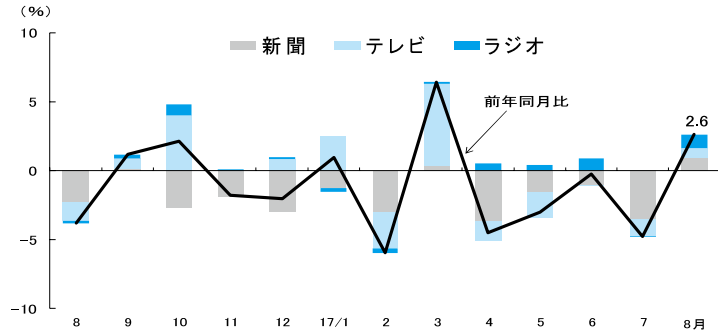
出所：東京商工リサーチ沖縄支店
 (注)負債総額1,000万円以上

④ 広告収入【マスコミ】(前年同月比)

※棒グラフはメディア別寄与度

5か月ぶりに増加

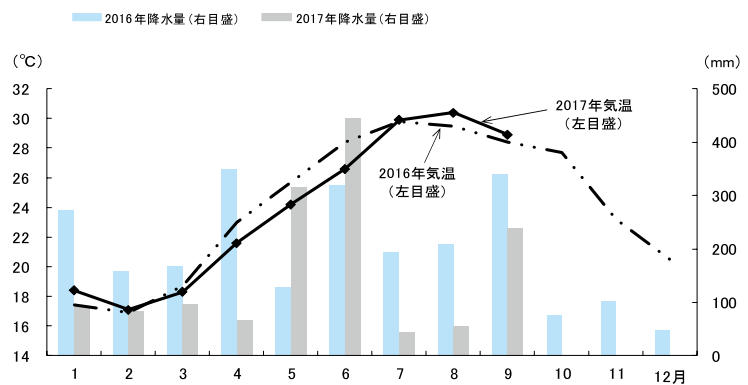
・広告収入(マスコミ:8月)は、前年同月比2.6%増となり、5か月ぶりに前年を上回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

参考 気象:平均気温・降水量【那覇】

- ・平均気温は28.9℃となり、平年(27.6℃)、前年同月(28.4℃)より高かった。降水量は239.5mmと前年同月(260.5mm)より少なかった。
- ・沖縄地方は、太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多かった。13日から14日にかけては、台風18号の影響により先島諸島や沖縄本島地方で大荒れの天気となった所があった。平均気温は平年よりかなり高く、降水量と日照時間は平年並みだった。



出所:沖縄気象台

消費関連

建設関連

観光関連

その他



GDP 増加

安定した社会構築の鍵

りゅうぎん総合研究所 常務
照屋 正

経済成長とは、国内総生産(GDP)の増加のことです。GDPとは、1年間に産出された付加価値の合計です。付加価値とは、会社の売上高から売上原価を引いた売上総利益(粗利)にあたります。ここでいう会社とは、法人だけでなく飲食店や美容院などの個人事業も含まれます。結局 GDP とは、国内のすべての会社の売上総利益の合計になります。

売上総利益は、私たちの消費活動や企業の設備投資といった支出活動が活発になることで増えます。「GDPが前年に比べて増えた」とは、私たちの支出が前年より増えたことを意味します。

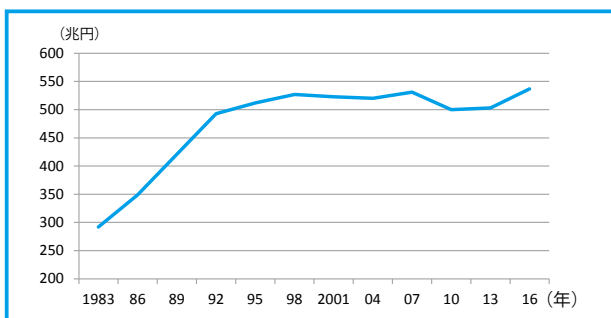
さて、日本経済は1994年から2013年までの20年間、GDP(名目)がほとんど増えませんでした。規模は約500兆円。この間、物価が低下し続けるデフレによって、長期の景気停滞を経験しています。

GDPが増えない、支出が増えない世界とは、どのような世界でしょうか。

会社は通常、前年を上回る売り上げ目標を立てて行動します。世の中の支出が増えない中で、多くの会社が目標を達成しようとする、限られたパイをめぐる過当競争が起こります。体力の弱い会社が淘汰されて失業が増え、新しく会社を興す機会も減ってしまいます。いわば弱者に厳しい世界です。

一方、パイが毎年大きくなる状況のもとでは、市場の棲み分けが可能になり、過当競争を回避することができます。安定した社会を築くには、まず経済のパイを大きくしていくことが必要です。

日本の名目 GDP の推移



出所：「国民経済統計 (GDP 統計)」内閣府



クルーズ船客の活動

化粧品や市販薬に関心

りゅうぎん総合研究所調査研究部 部長
武田 智夫

県の「外国人観光客実態調査報告書」(2016年度)によると、クルーズ船客が滞在中に行った活動は「ショッピング」が66.8%と最も高くなっています。次いで「都市観光、街歩き」「自然・景勝地観光」となっています。高額商品を購入するいわゆる「爆買い」の勢いはおさまりつつありますが、化粧品や市販薬などの購入意欲は高く、依然としてショッピングへの関心が高いことが分かります。

表は13年度以降の調査結果の推移です。3年前に比べて「都市観光、街歩き」「歴史的・伝統的な景観、旧跡観光」の割合が高まっています。ショッピングだけでなく、自国とは異なる街中で、散策を楽しむ体験型のコト消費にも関心が向いていることがうかがえます。

一方、「沖縄料理を楽しむ」と「沖縄料理以外の日本食を楽しむ」の割合が低下しています。食に対する関心が低くなっているのは気になるところです。

同調査では、ショッピングを行う場所の設問もあり、回答ではドラッグストアやスーパーマーケット、コンビニエンスストアが上位に上がりました。これに前述の回答の「都市観光、街歩き」を重ねて考えると、クルーズ船客の活動範囲が観光地だけではなく、私たちの日常の生活圏で広く活動していることがうかがえます。

身近な存在になりつつある外国人観光客を私たち県民一人一人が快く迎え入れ、沖縄のファンとして息の長いリピーターになってもらいたいものです。

滞在中行った活動 (複数回答)

	2013年度	14年度	15年度	16年度
ショッピング	67.9	63.7	71.4	66.8
都市観光、街歩き	55.9	49.9	48.4	62.2
自然・景勝地観光	50.5	49.6	56.3	53.9
歴史的・伝統的な景観、旧跡観光	37.2	42.1	36.7	52.0
沖縄料理を楽しむ	53.7	47.2	43.4	44.3
沖縄料理以外の日本食を楽しむ	32.5	23.4	18.5	20.8

出所：沖縄県「外国人観光客実態調査報告書」



自給率向上

域内経済強化し所得増

りゅうぎん総合研究所 研究員
仲吉 良弥

自給率とは、需要に対して供給された財やサービスのうち、地元で生産された財やサービスの割合をみる指標です。例えば、県内自給率が6割といった場合、需要に対して県内で生産された財やサービスが6割で、残りの4割が県外から調達していることとなります。

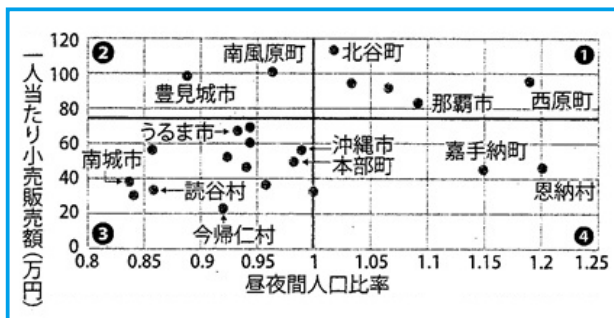
2011年の産業連関表から県内の自給率をみると、第一次産業55.8%、第二次産業45.7%、第三次産業87.5%となっています。第一次、第二次産業は供給の半分を移入・輸入に頼っていますが、逆にいえば自給率を引き上げる余地が大きいといえます。域内経済を強くするには、自給率を高めることが大事です。

市町村単位で考えてみましょう。財やサービスの販売によって地域に落ちたお金は、雇用者へ給与として支払われ、その一部が消費に向かいます。当該地域で消費を促す仕組みがあれば、お金を域内で循環させることができ、一層の所得や雇用の増加につながります。

グラフは、市町村の昼夜間人口（活動中の人口）比率と一人当たり小売販売額との関係をみたものです。①は人口流入地域です。販売額は県平均（離島、大宜味村、東村除く）を上回っており、消費が活発な地域といえます。反対に③は人口流出地域です。販売額は県平均を下回っており、消費が流出している可能性があります。

人口流出地域では、増加する観光消費の取り込みや雇用を増やすことなどで、域内の経済循環を高めることが望めます。

昼夜間人口比率と一人当たり小売販売額との関係



出所：昼夜間人口比率＝国税調査（2010年、総務省）一人当たり小売販売額＝商業統計調査（2014年、経済産業省）、住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（総務省）から作成。
注：離島地域、大宜味村、東村は除く。



賃金の上昇

阻む課題への対処 期待

琉球銀行首里支店 支店長
与儀 達博

景気の悪化などで労働力に対する需要が低下した際に、需要と供給の関係によって下落すると想定されていた労働者の賃金がなかなか下がらないことを経済学では「賃金の下方硬直性」と言い、古くから実証的な分析がなされてきました。

一方、足元のわが国は、有効求人倍率がバブル期以来の高水準にあるなど労働需給が引き締まっており、賃金が相応に上昇してもおかしくない状況だが、賃金上昇のペースはバブル期ほどの力強さがみられません。

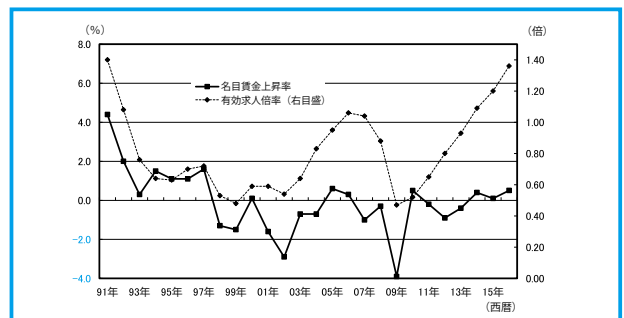
このような昨今の状況を踏まえ「賃金の上方硬直性」を論じる研究が盛んになっています。

賃金が上がりにくい要因として、①相対的に賃金が低い非正規雇用の増加などの労働者構成の変化②医療・福祉など労働需要が旺盛な業種における規制の影響③社会保険料率の上昇など賃金以外の企業負担の増大④将来の労働需要減退時に賃金の下方硬直性に直面することへの警戒⑤過去の不況等により人的資本投資が十分にされず労働生産性が伸び悩む世代の存在などが指摘されています。

ただ、要因はどれか一つではなく、複数の要素が絡み合って賃金が上がりにくい構造を形成しているのかもしれない。

沖縄県においても、景気拡大を背景に有効求人倍率が2016年度平均で本土復帰後初めて1倍に達しました。賃金上昇を阻む諸課題に適切な対処がなされ、一人ひとりが景気拡大を実感できる、そうした経済の実現が期待されます。

全国の有効求人倍率・賃金上昇率の推移



(備考) 1. 厚生労働省「毎月勤労統計調査」、「職業安定業務統計」により作成。2. 名目賃金上昇率は事業所規模人以上の現金給与総額前年比増減率。



ネットで買い物

消費支出の1割占める

りゅうぎん総合研究所 研究員
上原 優奈

ネットショッピングによる消費が拡大しています。総務省統計局の調査によると、全国の二人以上の世帯でネットショッピングを利用した世帯の割合は、調査開始の2002年から一貫して増加しています。16年には27.8%と、今や4世帯に1世帯が利用するようになりました。

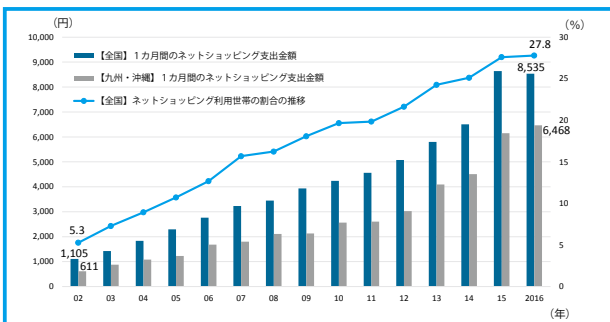
1カ月間のネットショッピング支出金額（16年）は全国で8,535円、九州・沖縄では6,468円となりました。02年に比べて全国は7.7倍、九州・沖縄10.6倍に増えています。

内訳は旅行代金が最も大きく、衣類・履物や家電などが上位を占めています。県内の1カ月間の消費支出（16年平均）は21万651円なので、支出金額はそれほど大きくないと思われるかもしれませんが、これはネットショッピングを利用していない世帯も含めて算出した額です。利用世帯に限ってみると、全国は3万678円、九州・沖縄は2万8,872円となり、消費支出の1割がネットショッピングで支出されていると推察されます。

公益社団法人日本通信販売協会の調査によると、ネットショッピングの際にスマートフォンを利用する人の割合が最も高い県は、沖縄県（44.5%）でした（全国平均28.0%）。

スマートフォンなどのモバイル端末の普及や電子マネーなどによる電子決済の浸透により、今後県内においてもネットショッピングの支出金額はさらに伸びると予想され、消費促進効果も期待できます。

ネットショッピングの利用世帯割合と支出金額（1カ月間）の推移



出所：総務省統計局「家計消費状況調査」



りゅうぎん 事業承継サポートローン

M&Aにも
対応可能

未来リレー

事業承継計画を策定し
会社の更なる成長へ！



円滑な事業承継で悩み解決！

事業承継計画策定から徹底サポート！

ご融資

最大 3億円

最長 30年

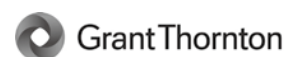
原則 無担保・代表者以外の保証人不要！

お問い合わせ・ご相談等はお気軽にりゅうぎん 窓口または専用ダイヤルへ

事業承継サポートローン専用ダイヤル

※ 祝日・土日以外の平日9:00～17:00まで対応いたします。

0120-63-1189



An instinct for growth™

経理部門の基本有用情報
太陽グラントソントン
今月の経理情報 2017年10月

今回のテーマ

災害時における費用・収益の税務上の取扱い

法人が、災害に関連して支出した費用、受け取った収入の税務上の取扱いはつぎのとおりです。

1. 取引先等に災害援助した場合

内 容		取扱い
寄附金 (義援金)	義援金が国等に拠出されることが募金趣意書等により明らかにされているもの	全額損金算入
災害見舞金等	取引関係の維持・回復を目的として取引先等に支払うもの	交際費に該当せず、全額損金算入
売掛金の免除等	被災した取引先の復旧支援を目的に災害発生後の相当期間内に行うもの	交際費また寄附金に該当せず、 全額損金算入
融資(貸付金)		低利または無利息の貸付けであっても、 寄附金の認識不要
被災者に提供する自社製品等		交際費または寄附金に該当せず、全額 損金算入

2. 自社が災害にあった場合

内 容		取扱い
除却損	資産の滅失・損壊(取壊費用を含む)	全額損金算入
評価損	著しい損傷により、資産の時価が帳簿価額を下回った場合	評価損を損金算入
修繕費	原則:被災資産の原状回復費用	全額損金算入
	特例:補強工事等で被災資産の効用を維持するためのもの	修繕費として経理処理していれば、損 金算入
保険金	原則:災害により受け取る保険金	全額益金算入
	特例:保険金を被災した固定資産の代替資産の取得に充てた場合	圧縮記帳により、益金算入した保険金 の課税を繰延べ
災害により受け取る義援金・見舞金		全額益金算入

お見逃しなく!

2017年税制改正において、従来、災害ごとに個別に設けられていた災害に関する税制上の措置が常設化され、災害発生後、特別立法を待つことなく、つぎの規定が適用できるようになりました。

- 1) 災害損失の繰戻しによる法人税額及び地方法人税額の還付
- 2) 仮決算の中間申告による所得税額の還付
- 3) 被災代替資産等の特別償却(特定非常災害の場合)

沖 縄

10.2 日本銀行那覇支店の県内企業短期経済観測調査(17年9月)によると、全産業の業況判断指数(DI)は、6月の前回調査から5ポイント上昇のプラス38、先行きは4ポイント低下のプラス34となった。雇用人員判断は、前回から変化なしのマイナス43で、先行きは4ポイント低下のマイナス47となった。

10.5 東京商工リサーチ沖縄支店によると、17年度上半期(4-9月)の沖縄県下企業整理倒産(負債総額1,000万円以上)の発生件数は前年同期比3件減の15件、負債総額は同9.3%減の10億9,800万円となり、件数・負債総額ともに上半期として過去最少を更新した。

10.10 イーレックス株式会社が100%出資する子会社、沖縄うるまニューエナジー株式会社は、国際物流拠点産業集積地域(うるま市)におけるバイオマス発電事業のために、土地所有者の沖縄県とバイオマス発電事業用地売買契約を締結した。

10.19 三井不動産株式会社は、恩納村の「(仮称)沖縄伊武部ビーチホテルプロジェクト」の計画概要を決定し、HAREKURANI CORPORATION(米国ハワイ州)と19年夏、「ハレクラニ沖縄」を開業することを発表した。ハレクラニは、ハワイを代表するラグジュアリーホテルで日本初進出となる。

10.20 沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課によると、17年度上半期(4-9月)の入域観光客数は、前年同期比9.3%増の504万6,100人となり、過去最高を更新した。外国人観光客は、同21.1%増の149万7,800人となった。

10.27 沖縄総合事務局によると、17年7月15日現在の県の耕地面積(田畑計)は、前年比0.5%(200ha)減の3万8,000haとなった。農業者高齢化・後継者不足等による耕地の荒廃や宅地等への転用が要因。

全国・海外

10.6 日産自動車株式会社は、車両製作工場の完成検査において、任命されていない検査員が合否判定を行ったものがあり、安全環境性能法規(保安基準)に関する検査が適切に行われていなかったことが判明したため、既登録車約115万台のリコールを国土交通省に届けた。

10.6 株式会社東京商工リサーチの発表によると、17年1-9月までの「太陽光関連事業者」の倒産は前年同期比61.9%増の68件となった。過去最多だった16年(1-12月)の65件を上回り、15年から3年連続で最多記録を更新した。

10.8 株式会社神戸製鋼所は、アルミ・銅事業部門において、顧客との間で取り交わした製品仕様に適合していない一部の製品につき、検査証明書のデータ書き換え等を行うことにより、当該仕様に適合するものとして、出荷していた事実(不適切行為)が判明したことを発表した。

10.18 株式会社NTTドコモは、月額利用料が無料で、カーシェアリング事業者やレンタカー事業者および個人が所有する車の中から、用途や場所、利用日にあわせて好みの車を選び利用できる新たなサービス「dカーシェア」を17年11月8日から提供することを発表した。

10.18 観光庁の「訪日外国人消費動向調査」によると、17年7-9月期の訪日外国人旅行消費額は、前年同期比26.7%増の1兆2,305億円だった。また、1人当たりの旅行支出は、同6.6%増の16万5,412円となった。

10.27 厚生労働省の17年「高齢者の雇用状況」(6月1日現在)集計結果によると、希望者全員が65歳以上まで働ける企業は、前年比1.5ポイント増の75.6%となった。企業規模別にみると、中小企業は同1.5ポイント増の78.0%、大企業は同1.6ポイント増の55.4%となった。

沖縄県内の主要経済指標

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動車 販売台数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2014	6.9	2.5	3.3	▲ 6.2	7.8	4.8	294,689	10.5	2,098	▲ 1.8
2015	14.5	3.1	5.6	▲ 6.9	▲ 4.3	2.3	321,300	9.0	2,037	▲ 2.9
2016	2.7	3.4	4.4	0.7	2.5	4.2	333,988	3.9	2,103	3.2
2016 8	▲ 0.9	0.1	0.5	2.9	15.6	14.9	24,997	7.0	120	▲ 46.2
9	2.0	1.7	1.9	0.5	▲ 5.2	3.1	37,867	22.8	213	33.9
10	▲ 4.3	3.7	3.8	▲ 13.4	4.5	▲ 5.0	36,683	▲ 24.1	209	8.9
11	▲ 5.9	3.1	3.3	7.0	6.9	9.5	24,026	62.2	151	▲ 18.6
12	3.1	1.4	1.6	2.4	▲ 4.4	4.0	23,920	25.1	270	100.5
2017 1	1.7	2.0	2.2	▲ 4.2	1.8	6.3	29,148	138.9	228	6.2
2	2.0	▲ 3.3	▲ 3.1	▲ 1.5	8.2	▲ 0.8	27,499	▲ 38.6	111	▲ 28.2
3	1.8	2.4	2.2	1.1	6.5	▲ 0.3	45,553	14.0	133	10.8
4	▲ 0.0	2.4	2.2	▲ 5.1	▲ 9.2	3.3	17,823	0.7	155	▲ 14.9
5	▲ 0.1	0.4	0.0	▲ 7.7	1.9	3.4	16,886	18.4	103	▲ 13.6
6	4.5	0.1	▲ 0.1	▲ 0.5	14.1	3.0	33,703	43.9	221	18.0
7	▲ 4.9	1.5	1.8	4.2	▲ 8.9	4.1	45,031	31.8	448	175.3
8	11.5	▲ 3.8	▲ 2.1	11.5	12.5	10.0	41,576	66.3	193	61.1
9	4.2	11.5	13.1	▲ 1.8	6.3	▲ 1.0	23,363	▲ 38.3	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2014	15,426	▲ 7.2	10.7	18.3	4.6	9.4	9.1	6.7	0.7	4.0
2015	16,136	4.6	22.7	3.4	▲ 1.2	▲ 11.0	▲ 5.0	6.2	4.1	▲ 1.2
2016	16,201	0.4	7.5	▲ 7.6	▲ 14.2	▲ 12.6	▲ 6.6	2.6	▲ 2.9	0.3
2016 8	1,082	▲ 38.7	29.0	▲ 11.4	▲ 17.7	▲ 8.6	▲ 12.2	5.0	▲ 1.4	▲ 3.8
9	1,714	12.2	5.8	▲ 17.3	▲ 21.7	▲ 13.5	▲ 13.3	▲ 0.3	▲ 4.5	1.2
10	1,731	54.8	▲ 2.0	▲ 12.4	▲ 9.7	▲ 6.2	1.5	2.4	▲ 6.0	2.1
11	1,057	▲ 19.1	8.8	▲ 1.3	2.9	▲ 0.1	▲ 3.6	▲ 4.2	▲ 5.6	▲ 1.8
12	1,728	32.3	▲ 11.6	5.8	▲ 1.3	▲ 6.1	▲ 8.0	3.9	0.3	▲ 2.0
2017 1	1,215	▲ 11.1	▲ 9.1	13.6	5.9	18.6	5.0	6.1	9.1	1.0
2	1,125	12.5	▲ 41.1	0.1	▲ 2.8	23.6	▲ 11.3	▲ 1.9	▲ 1.2	▲ 6.0
3	1,375	29.5	▲ 37.1	4.1	20.1	36.4	▲ 4.1	7.8	3.2	6.4
4	1,528	8.4	131.6	6.1	12.9	8.1	▲ 14.3	8.0	4.8	▲ 4.5
5	1,048	▲ 3.4	▲ 43.9	10.8	12.9	37.2	▲ 1.9	3.5	▲ 3.1	▲ 3.0
6	1,343	▲ 12.5	▲ 11.3	5.2	6.6	38.2	▲ 4.7	4.5	1.1	▲ 0.2
7	1,915	33.7	92.1	15.7	13.8	23.6	5.7	4.5	3.5	▲ 4.8
8	1,425	31.7	39.1	30.5	23.5	25.3	16.8	4.8	3.7	2.6
9	-	-	▲ 56.0	8.0	2.0	39.1	7.1	▲ 2.9	4.1	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2017年8月より調査先を20社から19社とした。

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2010年=100	前年比
2014	7,058.3	10.1	893.5	62.2	79.0	77.8	5.1	5.0	104.6	2.0
2015	7,763.0	10.0	1,501.2	68.0	81.8	78.9	4.5	7.2	100.7	▲ 3.7
2016	8,613.1	11.0	2,082.1	38.7	P82.1	79.3	P3.3	4.1	95.5	▲ 5.2
2016 8	926.9	16.2	232.0	50.0	88.6	90.3	6.0	6.4	93.9	▲ 7.9
9	793.0	9.4	203.4	36.0	89.9	90.8	▲ 2.0	0.8	94.2	▲ 1.2
10	767.9	10.2	194.7	34.2	83.0	85.6	5.9	6.2	102.7	0.4
11	650.2	4.9	110.2	▲ 2.8	80.8	74.6	▲ 5.6	1.6	96.7	▲ 0.5
12	663.0	8.1	137.2	6.9	77.0	63.1	8.0	5.1	99.1	1.6
2017 1	653.0	12.3	147.2	28.1	77.6	68.2	0.6	4.5	98.1	9.5
2	637.9	2.5	144.1	▲ 3.9	87.7	85.1	▲ 4.0	▲ 1.2	86.3	1.8
3	778.5	9.8	158.4	14.9	84.2	80.6	3.5	5.1	114.0	9.5
4	752.9	11.4	217.6	34.2	81.0	79.2	▲ 1.2	1.6	105.1	12.3
5	740.6	6.2	216.8	5.0	77.5	70.9	6.4	9.6	93.2	4.7
6	798.8	11.8	261.5	21.1	81.0	76.6	2.6	2.5	97.8	2.6
7	907.9	12.7	292.7	34.7	83.6	86.7	▲ 3.4	1.8	94.8	▲ 1.9
8	1,002.5	8.2	275.7	18.8	88.6	89.7	0.4	▲ 0.5	108.3	15.3
9	837.1	5.6	233.5	14.8	P88.4	88.4	P▲2.2	▲ 6.9	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2016年7月より調査先が26ホテルから25ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。 2013年11月より2010年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人人数(県内)	通関輸出	通関輸入
		百万円	前年比							
2014	78	10,112	▲ 73.7	2.5	5.4	0.5	0.69	14.7	80,589	380,584
2015	68	10,387	2.7	0.6	5.2	2.9	0.84	12.1	42,785	267,346
2016	42	5,158	▲ 50.3	0.1	4.4	2.3	0.97	10.3	27,688	176,881
2016 8	4	143	▲ 95.1	▲ 0.3	3.5	1.4	0.99	12.1	1,166	19,293
9	2	240	▲ 63.0	▲ 0.2	3.6	2.3	0.98	14.4	1,153	7,114
10	2	270	▲ 18.9	0.3	3.9	2.7	1.00	▲ 8.4	2,528	8,372
11	4	770	15.8	0.6	4.4	1.3	1.02	23.2	3,890	11,864
12	3	200	▲ 78.2	0.7	3.5	5.0	1.03	9.2	1,752	9,550
2017 1	4	141	▲ 62.4	0.6	3.5	3.7	1.08	8.3	1,293	14,873
2	8	760	169.5	0.3	4.1	1.3	1.02	1.5	1,365	7,919
3	8	1,766	▲ 13.9	0.2	4.1	0.7	1.01	2.1	6,192	17,651
4	3	130	▲ 78.2	0.4	3.4	3.1	1.12	16.7	1,305	23,669
5	3	391	220.5	0.4	3.3	2.4	1.13	10.6	1,505	13,804
6	2	70	▲ 36.4	0.6	4.6	1.9	1.18	2.6	1,855	15,124
7	5	334	100.0	0.5	3.5	4.0	1.15	8.6	1,520	11,545
8	1	157	9.8	0.7	3.2	1.6	1.11	5.8	2,265	12,714
9	1	16	▲ 93.3	0.8	3.4	▲ 0.4	1.08	▲ 2.0	7,495	14,231
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2015年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

沖縄県内の金融統計

年度	銀行券発行額	銀行券還収額	銀行券増減 (▲還収超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2014FY	3,140	4,405	▲ 1,320	1.955	253	▲ 5.4	4,162	▲ 5.8	349	0.084
2015FY	3,247	4,470	▲ 1,225	1.822	245	▲ 3.1	4,129	▲ 0.8	331	0.080
2016FY	2,830	4,284	▲ 1,452	1.628	229	▲ 6.6	3,767	▲ 8.8	138	0.037
2016 8	257	402	▲ 144	1.669	22	9.9	397	19.6	1	0.001
9	182	404	▲ 221	1.658	19	▲ 5.8	306	▲ 15.2	26	0.084
10	228	336	▲ 107	1.648	18	▲ 0.1	286	3.1	2	0.008
11	203	315	▲ 111	1.639	18	▲ 13.2	271	▲ 27.5	1	0.003
12	541	171	370	1.628	18	▲ 13.2	271	▲ 27.5	1	0.003
2017 1	111	562	▲ 450	1.620	18	1.2	299	4.7	1	0.004
2	206	301	▲ 95	1.613	18	▲ 16.4	283	▲ 18.5	8	0.030
3	225	376	▲ 151	1.596	20	▲ 6.8	339	▲ 8.9	44	0.130
4	287	295	▲ 8	1.600	16	▲ 7.9	286	▲ 3.7	42	0.147
5	165	467	▲ 301	1.584	21	▲ 2.9	370	▲ 4.4	33	0.090
6	208	362	▲ 154	1.579	20	▲ 7.2	331	▲ 4.2	1	0.002
7	191	296	▲ 104	1.574	18	4.1	320	18.4	0	0.000
8	183	375	▲ 192	1.571	18	▲ 17.5	356	▲ 10.2	0	0.001
9	-	-	-	-	16	▲ 16.6	255	▲ 16.7	0	0.000
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預貯金残高 (郵便貯金は含まない)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2014FY	44,575	5.5	31,332	5.5	42,849	3.2	8,152	▲ 0.3	1,391	▲ 8.8
2015FY	45,359	1.8	33,039	5.4	44,713	4.3	8,057	▲ 1.2	1,278	▲ 8.1
2016FY	45,634	0.6	34,673	4.9	46,088	3.1	8,199	1.8	1,201	▲ 6.8
2016 8	45,580	1.3	33,031	6.1	46,591	3.2	7,931	0.4	1,219	▲ 5.5
9	45,177	▲ 0.1	33,389	5.5	46,716	2.8	7,949	1.9	1,226	▲ 6.5
10	44,971	▲ 0.3	33,285	6.1	46,057	2.1	8,064	2.9	1,214	▲ 7.2
11	45,547	▲ 0.1	33,538	5.8	46,507	2.5	8,021	2.3	1,205	▲ 7.5
12	45,258	▲ 1.0	33,790	5.0	46,570	2.4	8,010	2.3	1,207	▲ 6.6
2017 1	45,064	0.5	33,975	5.7	46,436	2.7	8,181	5.1	1,197	▲ 6.1
2	45,335	0.5	34,232	5.6	46,174	2.7	8,181	5.7	1,192	▲ 6.1
3	45,634	0.6	34,673	4.9	46,533	3.7	8,199	1.8	1,201	▲ 6.8
4	46,526	1.2	34,083	5.4	47,452	3.5	8,185	2.6	1,167	▲ 5.5
5	46,351	0.4	34,347	5.5	47,492	3.1	8,157	3.1	1,144	▲ 5.7
6	46,456	0.6	34,441	5.2	48,269	3.2	8,120	3.2	1,135	▲ 6.3
7	46,626	1.6	34,622	5.4	48,235	2.9	8,086	3.1	1,139	▲ 6.3
8	46,476	2.0	34,803	5.4	48,028	3.1	8,082	1.9	1,142	▲ 6.3
9	46,707	3.4	35,151	5.3	-	-	-	-	1,148	▲ 6.4
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行那覇支店		沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、14年6月分より県内に所在する国内銀行および信用金庫の集計値へ変更になったため遡及改訂した。

なお、県内金融機関の預金残高は実質預金(総預金から小切手・手形を差し引いたもの)の集計値で、年度の残高は年度中の平残。

りゅうぎん ポイントサービス



ポイント数に応じてサービスいろいろ!

とくとく特典

特典1

ATM時間外
手数料が **無料!**
(当行ATM利用時のみ)

特典2

当行本支店間の
振込手数料が **無料!**
(キャッシュカード使用時のみ)

特典3

スーパー定期の
金利を**上乗せ!**
(※店頭表示金利+0.05%)

ポイントサービスとは!

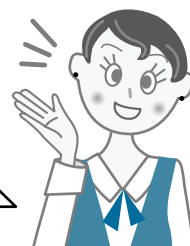
日頃お世話になっているお客様に対し、毎月のお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて手数料割引または金利優遇等の特典が受けられるサービスのことをいいます。

シルバーコース **50point**以上

ゴールドコース **100point**以上

エクセレントコース **200point**以上

ポイントサービスのお申込みがまだの方は、店頭のポイントサービス申込み用紙にご記入のうえ、窓口または郵便にてお申込み下さい。



※商品についての詳しいお問い合わせは、りゅうぎん窓口かフリーコールまで。



0120-19-8689

琉球銀行 ポイントサービス

<http://www.ryugin.co.jp/>

検索

特集レポートバックナンバー

■平成27年

12月 (No.554) 経営トップに聞く まさひろ酒造株式会社
An Entrepreneur 安里紅型工房

■平成28年

1月 (No.555) 経営トップに聞く 社会医療法人仁愛会
An Entrepreneur 有限会社島袋瓦工場
特集 沖縄県経済2015年の回顧と2016年の展望

2月 (No.556) 経営トップに聞く 株式会社ジャンボツアーズ
An Entrepreneur あーびやんもーゆ琉球月桃

3月 (No.557) 経営トップに聞く 株式会社前田鶏卵
An Entrepreneur 株式会社グランティール
特別寄稿 沖縄観光の長期展望

4月 (No.558) 経営トップに聞く 大晋建設株式会社
An Entrepreneur 株式会社エスベレ
特別寄稿 那覇空港ハブにおけるアジア諸国との貿易動向(2015年)

5月 (No.559) 経営トップに聞く 株式会社徳里産業
An Entrepreneur 有限会社石川種麴店

6月 (No.560) 経営トップに聞く 医療法人博寿会
An Entrepreneur 合同会社キンアグー

7月 (No.561) 経営トップに聞く 株式会社okicom
An Entrepreneur 株式会社リュウクス

8月 (No.562) 経営トップに聞く 株式会社ブレンティーホールディングス
An Entrepreneur 株式会社バイオジェット

9月 (No.563) 経営トップに聞く 株式会社森山写真商会
An Entrepreneur 琉球インタラクティブ株式会社

10月 (No.564) 経営トップに聞く 株式会社丸大
An Entrepreneur みかん・おれんじグループ

11月 (No.565) 経営トップに聞く デルタ電気工業株式会社
An Entrepreneur 株式会社ABCメディカルサポート
特集 宮古ロックフェスティバル2016の経済効果

12月 (No.566) 経営トップに聞く フォーモストブルーシール株式会社
An Entrepreneur 真幸組株式会社

■平成29年

1月 (No.567) 経営トップに聞く 株式会社かりゆし
An Entrepreneur 有限会社コムテック創研
特集1 県内企業の人手不足の対応と課題
特集2 沖縄県経済2016年の回顧と2017年の展望

2月 (No.568) 経営トップに聞く 株式会社アレックス
An Entrepreneur 有限会社浦西開発

3月 (No.569) 経営トップに聞く 株式会社富士葬祭
An Entrepreneur yu-i FACTORY
特別寄稿 那覇空港ハブにおけるアジア諸国との貿易動向(2016年)

4月 (No.570) 経営トップに聞く 有限会社沖縄長生薬草本社
An Entrepreneur 株式会社琉球ファクトリー

5月 (No.571) 経営トップに聞く 株式会社ナンポー
An Entrepreneur 農業生産法人安座間珈琲農園合同会社
特集1 沖縄県の主要経済指標
特集2 2016年度の沖縄県経済の動向

6月 (No.572) 経営トップに聞く 株式会社次郎工業
An Entrepreneur 株式会社EGL OKINAWA

7月 (No.573) 経営トップに聞く 生活協同組合コープおきなわ
An Entrepreneur イーストホームタウン沖縄株式会社
特集 沖縄県内における2017年プロ野球春季キャンプの経済効果

8月 (No.574) 経営トップに聞く 医療法人六人会
An Entrepreneur レキオファーマ株式会社
特集 第32回NAHAマラソンの経済波及効果

9月 (No.575) 経営トップに聞く 株式会社学友館
An Entrepreneur プーランジェリーパティスリー いまいパン

10月 (No.576) 経営トップに聞く 興南施設管理株式会社
An Entrepreneur 株式会社フルシステム

人材派遣センターオキナワ×グルーヴス 沖縄県内企業の人材確保に向け 東京の人材紹介ベンチャー企業(株)groovesと提携



(株)groovesが手掛ける求人情報流通システム「Crowd Agent(クラウドエージェント)」は人材紹介事業者が求人情報の提供・共有を行う網羅的な情報ネットワークで、これにより県外人材を県内企業に紹介するなど地域を超えた人材の流通を可能にします。

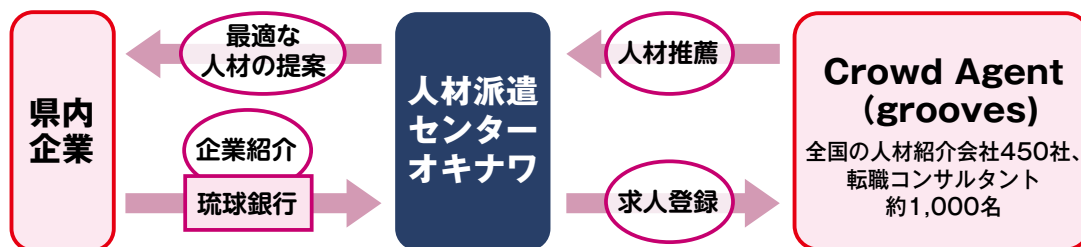
グルーヴスは2005年より人材紹介会社用求人データベースシステムの提供を開始。現在、人材紹介会社約450社、独立キャリアコンサルタント約1,000名、求人企業約3,000社に利用されています。

(※数値は2017年6月現在)

深刻な人手不足の解消を目指す

現在、沖縄県内では深刻な人手不足に陥っており、「人材の確保」が喫緊の課題となっています。本提携では、人材派遣センターオキナワが琉球銀行のネットワークを活用して沖縄県内企業の人材領域のニーズを顕在化させ、Crowd Agentに求人情報を登録。全国の人材紹介会社からの人材の推薦を受け、県内企業へ人材供給を行うことで、県内の企業の人手不足解消を目指します。年度内10人の移住を伴う人材確保を目指していきます。

本提携における各社の役割



※人材派遣センターオキナワは琉球銀行とビジネスマッチング契約を締結しています。

 株式会社 人材派遣センターオキナワ

〒900-0015 那覇市久茂地1-7-1 琉球リース総合ビル9F
TEL.098-863-3737(代) FAX.098-863-3732
<http://www.jinzai-okinawa.co.jp>

りゅうぎん調査 No.577 平成29年 11月 5日発行

発行所：株式会社りゅうぎん総合研究所
〒900-0025 那覇市壺川1丁目1番地9
りゅうぎん健保会館3階
TEL 835-4650 FAX 833-3732

印刷：沖縄高速印刷株式会社